

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-47360

(43) 公開日 平成8年(1996)2月20日

(51) Int.Cl.⁶

A 0 1 K 97/06

識別記号

5 0 1

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数22 F D (全 28 頁)

(21) 出願番号 特願平7-84576

(22) 出願日 平成7年(1995)3月17日

(31) 優先権主張番号 特願平6-145641

(32) 優先日 平6(1994)6月2日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(31) 優先権主張番号 特願平6-145642

(32) 優先日 平6(1994)6月2日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(31) 優先権主張番号 特願平6-145643

(32) 優先日 平6(1994)6月2日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000198581

石田 勝敏

静岡県静岡市登呂4丁目13番13号

(72) 発明者 石田 勝敏

静岡県静岡市登呂4丁目13番13号

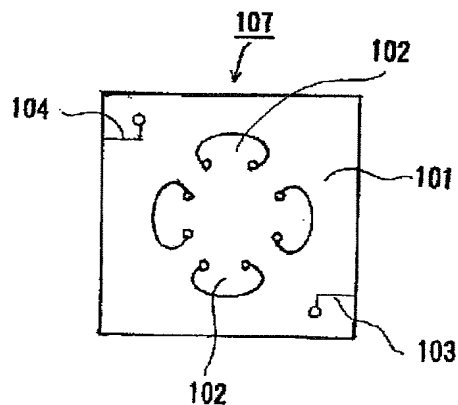
(74) 代理人 弁理士 渡部 剛 (外1名)

(54) 【発明の名称】 釣具収納具、釣具収納シート、釣具収納袋及び釣具セット

(57) 【要約】

【目的】 収納したハリスの取出し作業の簡略化、安全化を図ることができる釣具収納具、釣具収納シート及び釣具収納袋、及びこれらを用いた釣具セットを提供する。

【構成】 釣具収納具107は、水に容易に溶解または分散する材料からなる正方形のシート101の内周部に、釣具のハリスを巻回固定するための4箇所の切り起こし部(起立片)102と、互いに対抗する2箇所の直角部近傍にハリス1の両端部を固定するためのL字形の切り込み部103、104が設けられている。この釣具収納具のハリス巻回部にハリスを巻回して釣具収納具を作成する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハリスを巻回するためのハリス巻回部と、該ハリス巻回部を支持する支持部材とを備え、該ハリス巻回部および支持部材の少なくとも一方が水に容易に溶解または分散する材料で形成したことを特徴とする釣具収納具。

【請求項2】 支持部材がシート状物よりなり、ハリス巻回部が、シート状物上の設けられた複数の切り起こし片よりなることを特徴とする請求項1記載の釣具収納具。

【請求項3】 複数の切り起こし片がシート状物の一部によって形成されたものである請求項2記載の釣具収納具。

【請求項4】 中央部が両端より幅狭のハリス巻回部を形成するシート状物であって、水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納具。

【請求項5】 ハリスを巻回するための円筒状ハリス巻回部と、該円筒状ハリス巻回部の少なくとも両端に設けられたフランジ部よりなり、該円筒状ハリス巻回部が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納具。

【請求項6】 巻回又は束ねられたハリスを載置するための載置部と、折り畳むことによって載置されたハリスの少なくとも一部を覆うことが可能な複数のハリス保持部とを有するシート材よりなり、該シート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納シート。

【請求項7】 ハリス保持部に水可溶性または水分散性粘着剤が塗布されている請求項6記載の釣具収納シート。

【請求項8】 巻回又は束ねられたハリスを載置するためのシート材と、載置されたハリスの少なくとも一部を覆うための、水溶性または水分散性粘着剤が塗布された複数のハリス保持片とよりなり、該シート材及びハリス保持片が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納シート。

【請求項9】 開口蓋を有する巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納する収納袋体よりなり、該収納袋体が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納袋。

【請求項10】 巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納する収納袋体の外面に、ハリスを巻回する巻回部を設けたことを特徴とする請求項9記載の釣具収納袋。

【請求項11】 2枚の細長形状のシート材を接着することによって形成された、巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納するための複数の袋状収納部および開口蓋を有する収納体であって、該2枚の細長形状のシート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納袋。

2

【請求項12】 収納体の各袋状収納部またはその近傍に、ハリまたはハリの軸部を保持する保持部材を設けてなる請求項11に記載の釣具収納袋。

【請求項13】 細長形状のシート材上に、巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納するための複数の袋状収納部および開口蓋が形成された収納体であって、該細長形状のシート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする釣具収納袋。

10 【請求項14】 収納体の各袋状収納部またはその近傍に、ハリまたはハリの軸部を保持する保持部材を設けてなる請求項13に記載の釣具収納袋。

【請求項15】 ハリスを巻回するためのハリス巻回部と、該ハリス巻回部を支持する支持部材とを備え、該巻回部および支持部材の少なくとも一方が水に容易に溶解または分散する材料で形成された釣具収納具のハリス巻回部にハリスを巻回したことを特徴とする釣具セット。

20 【請求項16】 中央部が両端より幅狭のハリス巻回部を形成するシート状物であって、水に容易に溶解または分散する材料で形成された釣具収納具のハリス巻回部にハリスを巻回したことを特徴とする釣具セット。

【請求項17】 ハリスを巻回するための円筒状ハリス巻回部と、該円筒状ハリス巻回部の少なくとも両端に設けられたフランジ部よりなり、該円筒状ハリス巻回部が水に容易に溶解または分散する材料で形成された釣具収納具の該円筒状ハリス巻回部にハリスを巻回したことを特徴とする釣具セット。

30 【請求項18】 巻回又は束ねられたハリスを載置するための載置部と、折り畳むことによって載置されたハリスの少なくとも一部を覆うことが可能な複数のハリス保持部とを有するシート材よりなり、該シート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成された釣具収納シートに、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする釣具セット。

40 【請求項19】 巻回又は束ねられたハリスを載置するためのシート材と、載置されたハリスの少なくとも一部を覆うための、水可溶性または水分散性粘着剤が塗布された複数のハリス保持片とよりなり、該シート材及びハリス保持片が水に容易に溶解または分散する材料で形成された釣具収納シートに、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする釣具セット。

【請求項20】 開口蓋を有する巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納する収納袋体よりなり、該収納袋体が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたこと釣具収納具に、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする釣具セット。

50 【請求項21】 2枚の細長形状のシート材を接着することによって形成された、巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納するための複数の袋状収納部および開口蓋を有する収納体であって、該2枚の細長形状のシート材が水に容易に溶解または分散する材料で形

成された釣具収納袋に、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする釣具セット。

【請求項22】 細長形状のシート材上に、巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納するための複数の袋状収納部および開口蓋が形成された収納体であって、該細長形状のシート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成された釣具収納袋に、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする釣具セット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ハリスを収納する釣具収納具、釣具収納シート、釣具収納袋及びこれらを用いた釣具セットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】図79及び図80は、一般的に魚釣りに使用されている釣具の一例を示したものである。図79に示す釣具51は、ハリス1の一端にハリ2が接続され、他の端部にスナップ3が取り付けられた基本的な魚釣り用の釣具である。また、図80に示す釣具52は、上記釣具51に対し、ハリス1の中間部にハリ4付きの枝ハリス5を接続したものである。また、図83に示す釣具53は、ハリス33の両端部にスナップ31、32を接続し、中間部にツノ36付きの6本の枝ハリス35を等間隔に接続したものである。更に、図88の釣具54は、ハリス33の両端部にスナップ31、32を接続し、中間部にハリ34付きの6本の枝ハリス35を等間隔に接続したものである。釣具には、これ以外にも多種多様なものがあり、釣る魚の種類によりその選択が行われる。

【0003】図81は、図79及び図80の釣具51及び釣具52を収納するための、通常市販されている釣具収納具の一例を示したものである。この釣具収納具8は、中心部に円形の孔9を有するドーナツ形をした耐水性の厚紙でできていて、その内周部に、上記釣具のハリ2、4を引っかけるための複数の小孔10と、ハリス及び枝ハリスを巻回固定するための複数の切り起こし部11とを具備し、更にその外周部に該ハリスの終端部を固定するための複数の切込み部12を具備している。

【0004】そして、図82は、図79の釣具51を釣具収納具8に収納した場合の収納状態を示したものである。まず、釣具のハリ2を小孔10に引っ掛け、ハリス1を複数の切り起こし部11に順次掛けながら右巻きに巻回し、ハリス1のスナップ3が取り付けられた端部を切込み部12に固定することにより、その釣具を収納したものである。なお、図80の釣具52も、同様の方法で収納することが可能である。

【0005】図84及び図85は、通常市販されている図83の釣具53を収納するための、釣具収納具の一例を示したものである。この釣具収納具18は、形状がほぼ四角形で、その上部と下部に切り込み部19を有する

突起20がそれぞれ5つずつ設けられている。そして、その釣具収納具18は、中心部に硬めの発泡ポリスチロール板21が使用されていて、その表裏両面に釣具のツノのハリを刺すための柔らかめの発泡ポリスチロール板22が接着された、サンドイッチ形の構造になっている。そのため、発泡ポリスチロール板22の部分は、前記イカ釣り用の仕掛のツノのハリが刺さり易い構造になっている。

【0006】そして、図86及び図87は、図83の釣具53を収納した場合の収納状態を示したもので、まず釣具のハリス33のスナップ31の近傍部分を、左上端の切り込み部19に挟み込んで固定すると共に、枝ハリス35に取り付けたツノ36のハリを釣具収納具18の発泡ポリスチロール板22に刺してそれを固定しながら、該釣具収納具18の上下方向にハリス33を巻回し、該ハリス33の巻き終わり端部側であるスナップ32が接続された近傍のハリス33を右上端の切り込み部19に固定し、左右方向に輪ゴム23を用いることにより補強固定したものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】ところで、このような釣具収納具においては、収納されたハリスを巻戻して使用するため、取り外しが不便であり、その取り外しの際にハリスが絡み、ときには、ハリを手を刺す等の不都合があった。このような作業は、釣り自体とは無関係でありながら、避けられないものであり、初心者には厄介なことであった。また、熟練者にとっても面倒な作業であった。

【0008】本発明は、従来の上記のような問題点を解決することを目的として成されたものである。したがって、本発明の目的は、収納したハリスの取出し作業の簡略化、安全化を図ることができる釣具収納具、釣具収納シート及び釣具収納袋、及びこれらを用いた釣具セットを提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の釣具収納具の第1のものは、ハリスを巻回するためのハリス巻回部と、該ハリス巻回部を支持する支持部材とを備え、該ハリス巻回部および支持部材の少なくとも一方が水に容易に溶解または分散する材料で形成したことを特徴とする。この釣具収納具の具体的態様の1つは、支持部材がシート状物よりなり、ハリス巻回部が、シート状物上の設けられた複数の切り起こし片よりなるものである。この複数の切り起こし片は、シート状物の一部によって、すなわち、切り起こし部を設けたシート状物に形成されたものであってもよい。

【0010】本発明の釣具収納具の第2のものは、中央部が両端より幅狭のハリス巻回部を形成するシート状物であって、水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。本発明の釣具収納具の第3のものは、

のは、ハリスを巻回するための円筒状ハリス巻回部と、該円筒状ハリス巻回部の少なくとも両端に設けられたフランジ部よりなり、該円筒状ハリス巻回部が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。

【0011】本発明の釣具収納シートの第1のものは、巻回又は束ねられたハリスを載置するための載置部と、折り畳むことによって載置されたハリスの少なくとも一部を覆うことが可能な複数のハリス保持部とを有するシート材よりなり、該シート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。上記ハリス保持部には水可溶性または水分散性粘着剤が塗布されていてもよい。本発明の釣具収納シートの第2のものは、巻回又は束ねられたハリスを載置するためのシート材と、載置されたハリスの少なくとも一部を覆うための、水可溶性または水分散性粘着剤が塗布された複数のハリス保持片とよりなり、該シート材及びハリス保持片が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。

【0012】本発明の釣具収納袋の第1のものは、開口蓋を有する巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納する収納袋体よりなり、該収納袋体が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。この釣具収納袋の収納袋体には、外面にハリスを巻回する巻回部を設けてもよい。本発明の釣具収納袋の第2のものは、2枚の細長形状のシート材を接着することによって形成された、巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納するための複数の袋状収納部および開口蓋を有する収納体であって、この2枚の細長形状のシート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。この釣具収納袋において、収納体の各袋状収納部またはその近傍に、ハリまたはハリの軸部を保持する保持部材を設けてもよい。本発明の釣具収納袋の第3のものは、細長形状のシート材上に、巻回又は束ねられたハリスの巻回部又は束ね部分を収納するための複数の袋状収納部および開口蓋が形成された収納体であって、該細長形状のシート材が水に容易に溶解または分散する材料で形成されたことを特徴とする。この釣具収納袋において、収納体の各袋状収納部またはその近傍に、ハリまたはハリの軸部を保持する保持部材を設けてもよい。

【0013】本発明の釣具セットの第1の態様のものは、上記それぞれの釣具収納具のハリス巻回部にハリスを巻回したことを特徴とする。本発明の釣具セットの第2の態様のものは、上記それぞれの釣具収納シートに、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする。本発明の釣具セットの第3の態様のものは、上記それぞれの釣具収納袋に、巻回又は束ねられたハリスが収納されたことを特徴とする。

【0014】まず、本発明において使用する材料につい

て説明する。本発明において、上記したハリス巻回部、支持部材、シート状物、シート材及び収納袋体等を形成する水に容易に溶解または分散する材料は、0℃以上の水に浸漬した時に、数分以内に、好ましくは1分以内に、特に5～10秒間で溶解または分散して水溶液または分散液になる性質を有するものである。

【0015】上記したハリス巻回部、支持部材、シート状物、シート材及び収納袋体等は、水に容易に溶解または分散する材料よりなるシートを用いて形成することができる。例えば、繊維状のカルボキシメチルセルロース塩（Na塩等）（CMC）からなる水溶性紙、繊維状CMCと製紙用パルプからなる水分散性紙、製紙用パルプと水溶性バインダーとよりなる水分散性紙、ポリビニルアルコールを主体とする水溶性フィルム、澱粉を主成分とするオブラート、コラーゲンフィルム等が使用できる。その他、例えば、ゼラチン、ポリアクリル酸アルカリ塩等の水溶性材料も上記のシート、テープおよび紐状物の作製に使用することができる。より具体的に説明すると、繊維状カルボキシメチルセルロースまたはそれと製紙用繊維とから形成された水溶性マトリックスに水溶性固体酸または水溶性固体酸と水溶性バインダーとが含まれたまたは塗布された水溶性シート（特公平3-11831号公報参照）、けん化度90～97.5モル%のポリビニル系バインダーが繊維状で紙組成物に存在させた水分散性紙（特開平2-68397号公報参照）、抄紙工程において、再湿結合剤を添加して作成された水分散性紙（特公昭50-3804号公報参照）等が使用できる。さらに、ポリビニルアルコール等の水溶性を示し、かつ感熱接着性を有する樹脂粉末を水溶性または水分散性を有する紙の表面と散布紙。熱処理することによって形成された感熱接着可能な水溶性紙（特開平6-287889号公報）を使用することができ、この場合、水溶性接着剤を用いることなく熱溶着により接着することができるので、接着を利用する用途、例えば、筒形体の接着、フランジの接着、シートとシートの接着、袋体の接着加工等特に好ましい。本発明においては、これらのシート材のうち、水溶解時間または水分散時間が5～10秒程度のものが特に好ましく使用される。

【0016】本発明において、ハリス保持部その他に塗布される水可溶性または水分散性粘着剤、および釣具収納袋を作成するために使用される接着剤としては、水中に浸すとただちに分散または溶解するものが望ましい。具体的には、乾燥状態で接着性を失う水溶性接着剤、例えば、ホットメルト型水溶性接着剤、又乾燥状態で接着性を有する水溶性粘着剤等が使用目的に応じて選択される。このような機能を有する接着剤としては多種多様なものが知られているが、例えば、CMC、水溶性デンプン、ゼラチン、ポリビニルアルコール、ポリアクリル酸アルカリ塩等が使用でき、また、ポリビニルアルコールに水溶性ポリアミドを混合したホットメルト型水溶性接

着剤（特公昭62-34263号公報）、ポリビニルアルコールとポリエチレングリコールとからなるホットメルト型水溶性接着剤（特公昭58-8433号公報）等も使用できる。また、水溶性粘着剤としては、重合度および鹸化度を調整したポリビニルアルコールが好適に使用される。また、樹脂酸石鹸、それと相溶する水不溶性合成樹脂、水溶性多価アルコールまたは尿素、および水または溶剤からなる水溶性感圧接着剤（特公昭47-51808号公報）、水溶性のカルボキシ基含有高分子重合体、ポリアルキレングリコールおよび水溶性多価金属塩の三成分系水性分散液からなる感圧接着剤（特公昭48-24490号公報）、アクリル酸-アクリル酸低級アルキルエステル共重合体のアルカリ塩とポリエーテルポリオールまたは多価アルコールとからなる水溶性感圧接着剤（特公昭48-33973号公報）等を使用することもできる。

【0017】本発明における上記水に容易に溶解または分散する材料は、無毒性のものであり、農業用袋、水耕栽培の播種シート、水溶性の流し灯籠などにも利用されているが、水中で溶解或いは分散されて魚類の餌になったり、更に微生物分解されて最終的には自然界にもどるので、釣り場である河川、湖沼、海洋、港の埠頭、海岸等にゴミとして残ることがない。したがって、環境保全上有用である。

【0018】

【作用】本発明の釣具収納具、釣具収納シート及び釣具収納袋は、ハリスを巻回または束ねて収納する部分が水に容易に溶解または分散する材料で形成されているから、ハリスを巻回または束ねて収納した状態でそのまま水中に投入すると、水に容易に溶解または分散する材料がただちに溶解または分散して、巻回または束ねられたハリスが巻回または束ねられる前の状態に戻る。したがって、これらの釣具収納具、釣具収納シート及び釣具収納袋を用いて得られた本発明の釣具セットは、それを水中に投入すると、巻回部、シート材、収納袋等を形成する水に容易に溶解または分散する材料が溶解または分散して、ハリスの巻戻しが自動的に行われる。水流がある場合には、その溶解または分散作用が助長され、従前と同様のハリスの投入状態が得られる。

【0019】

【実施例】以下、本発明を一実施例に基づき詳細に説明を行う。

（第1実施例）図1ないし図4は、本発明の釣具収納具の第1の実施例を示したものである。図1は本発明の釣具収納具の構成、図2ないし図4は本発明の釣具収納具を用いて図79に示す釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。釣具収納具107は、図79に示す釣具51を収納するのに好適なもので、上記した水に容易に溶解または分散する材料からなる正方形のシート101の内周部に、釣具51のハリス1を巻回固定するた

めの4箇所の切り起こし部（起立片）102と、互いに対抗する2箇所の直角部近傍にハリス1の両端部を固定するためのL字形の切り込み部103、104が設けられている。また、シート101の形状は、必ずしも正方形に限定されるものではなく、その形状は円形、三角形等、任意に設定できる。

【0020】前記シート101は、例えばCMC（カルボキシメチルセルロース塩）などの水溶性ポリマーやでんぷん等の水溶性または分散性物質を主成分とした材料を用いて形成することができる。その場合、これら材料の水溶性または分散性は、CMCの配合比、カルボキシメチル基の量により調整することができ、水中での溶解または分散時間が5～10秒位の短時間のものが望ましい。

【0021】図2は、本発明の釣具収納具107の使用態様を示したもので、図79に示す釣具51を、収納した場合の一例を示したものである。釣具の収納は、まず釣具収納具107の切り込み部103に、ハリス2を接続した側のハリス1の端部を挟むことにより固定し、次にハリス1を4箇所の切り起こし部102に順次巻回収納していき、残りのスナップ3取付側の端部を切り込み部104に挟み込み固定することにより、釣具の収納が完了すると共に、釣具セット60が完成する。なお、シートの厚みが薄く、ハリスの端部の挟み込みが不十分な場合には、シートの切り込み部103、104近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を挟み込んだ状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込み部を用いずに、前記水溶性テープによって貼着して行ってもよい。

【0022】図79に示す釣具51を本発明の釣具収納具に収納した釣具セット60は、図4に示すようにポリエチレンフィルムなどのプラスチックフィルムよりなる包装袋105に入れ、ホッチキス106で止めるなどして封止し、釣具セット製品100として販売することが可能である。

【0023】本発明の釣具収納具107は、水に容易に溶解または分散する材料よりなるシートで構成されているため、釣具セット60を使用する際は、釣具51を取り外す必要はまったくなく、収納したままの状態、そのまま使用できることが最大の利点である。したがって、釣具セット製品100を購入し、ホッチキス106を取り外してパッケージされている包装袋105を開封すれば、直ちに釣具セット60をそのままの状態で使用することができる。

【0024】図5ないし図10は、上記釣具セット60の使用態様を示したものである。図5は、磯釣りに用いられる一般的仕掛けに、本発明の釣具セット60を用いた場合の一例を示したものである。サオ108には、道糸

10

20

30

40

50

109を巻回したリール110と、道糸109をサオ108の先端まで案内するための複数のガイド111が、取り付けられている。道糸109の先端部にはスナップ付きサルカン112が接続され、スナップ付きサルカン112にはオモリ113を取り付けたテンビン114の支柱115が接続されている。また、テンビン114の腕116には、図2に示す本発明の釣具セット60に収納された釣具51のスナップ3が取り付けられており、ハリ2には餌117が取り付けられている。

【0025】この釣具セット60を用いると、図79に示す釣具51をテンビン114の腕116に直接接続する場合と比べて、投入時における仕掛けの長さを大幅に短縮化することができると共に、その他様々な利点がある。仮に、図79に示す釣具51の長さL1を、 $L1 = 5\text{m}$ とすると、本発明の釣具セット60ではハリス1が巻回された状態で収納されているため、L1を0.1m以下の長さに短縮することが可能となる。したがって、釣具セット60を腕116に接続した場合の長さL2は、 $L2 < 0.1\text{m}$ となり、釣具全体の長さL3は1m未満の短いものとなる。すなわち、従来の釣具の長さL1を、 $1/50$ にまで短縮して、L2の長さにすることができる。

【0026】したがって、投入時における仕掛けの長さが短縮されることにより、ハリス1の絡みがほとんどなくなると共に、通常よりも短いサオ108 ($L4 = 5.4\text{m}$)を用いてのキャストが可能となる。また、高度のキャスト技術を必要としないため、初心者への取扱いが容易で、また通常よりも長いサオ108を用いることができるため、道具購入費用が安価になるなどの効果を奏する。

【0027】図6は、図5の仕掛けを用いてキャストを行った際の、仕掛けの飛翔状態を示したものである。仕掛けの飛翔状態は、質量が最も大きくて空気抵抗の影響が最も小さいオモリ113が一番先頭を飛んで行き、それに引かれて、最も軽量の釣具セット60等が空気抵抗の影響を大きく受けて最後部を飛翔する。この場合、図79に示す仕掛けを直接使用している場合は、 $L1 = 5\text{m}$ のハリス1と、道糸109が平行して飛翔するため、ハリス1が道糸109などに絡み易い欠点があるが、本発明の釣具セット60を直接使用した場合は、釣具の長さL1が短縮されてL2が $L2 < 0.1\text{m}$ となり、釣具全体の長さL3は1m未満に短縮されるため、絡みの心配はほとんどない。

【0028】図7ないし図10は、図6の仕掛けが水面に着水した以降の状態を示したものである。図7において、図6の仕掛けが水面に着水し水中に入ると、本発明の釣具セット60は、図8に示す様に直ちに溶解または分散を開始し、例えば5～10秒位の短時間で完全に溶解または分散される。したがって、これまで釣具セット60内に収納されていたハリス1は、図9に示すように釣

具収納具を構成する材料が分散溶解されるにつれてほぐれ、図10に示すようにハリ2に取り付けられた餌117の沈下と共に、ハリス1は完全にほぐれほぼ一直線状になり、元の釣具の状態に戻る。なお、二度目以降のキャストは、前記釣具収納具107を用いてもよいが、水に容易に溶解または分散する材料よりなるシートまたは紐状物にハリスを保持するための水に容易に溶解または分散する材料よりなる結束部が形成されたハリス保持具を用いることにより、初回と同様に投げ入れ時における仕掛けの長さを短縮することができる。

【0029】なお、釣具セット60に巻回されていたハリス1が絡むことなくほぐれるようにするためには、ハリス1の材質として、ナイロン、ポリエステル、フロロカーボンなどの化学繊維のイトが使用されるのが好ましい。何故ならば、これらの繊維が弾力性や復帰力を持っていて、絡みにくい性質を有しているからである。中でも、ナイロン系のイトは、強度があり、しなやかであるという長所があるため、ハリス用として最も多く使用されている。特に、ハリス用のイトは伸びが少なくややかためのものが用いられる。また、フロロカーボンも、比重が大きいため水中での沈みが速く、硬質で絡みにくい性質を有しているため、ハリス用として多く使用されている。また、ハリ2の近傍のハリス1部分に付加されるガン玉などのオモリ（図示せず）及び水の流動性等の作用は、該釣具セット60の分散溶解性を助長する働きをするものである。

【0030】本発明の釣具セット60の最大の特徴は、包装袋から取り出して、テンビン114の腕116等に取り付け、そのハリ2に餌117を取り付けるだけの簡単な操作で、釣りを行うことができる。したがって、図82及び図86に示す従来の釣具セット8、18のように、ハリ2、ツノ36、ハリス1、33等を、釣具セット60から取り外すという作業を行う必要がなく、取り出し中にハリス1が絡んだり、ハリ2を手に刺さしたりする心配がないなどの長所がある。

【0031】図11ないし図78は、本発明の釣具収納具の他の実施例および釣具収納シート及び釣具収納袋の実施例を示したものであるが、これらの使用態様は第1の実施例の場合とすべて共通であるため、それぞれについての図5ないし図10に関する記載を省略する。

【0032】（第2実施例）第11図ないし第14図は、本発明の釣具収納具の第2の実施例及び釣具セットの第2の実施例を示したものである。図11及び図12は本発明の釣具収納具の構成、図13及び図14は本発明の釣具収納具を用いて図79に示す釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。図11および図12に示す釣具収納具118は、互いに対向する2箇所の直角部近傍に、釣具のハリス1の両端部を固定するためのL形の切り込み部119、120を設けた水に容易に溶解または分散する材料からなる正方形のシート121

と、各角の一つおきに4つの切り起こし部（切り起こし片）122を有する水に容易に溶解または分散する材料からなる形状が8角形のシート123とからなり、そして、その正方形のシート121の内周のほぼ中心部に、該シート123を前記した水溶性接着剤により接着することにより、釣具のハリスを巻回固定するためのハリス巻回固定部124が形成されている。

【0033】この釣具収納具118は、図79の釣具51を収納して釣具セットを作成するのに好適なものであり、その状態を図13および図14に示す。その収納方法は、まず、釣具のスナップ3取付側のハリス1端部を切り込み部119に挟み込み、ハリス1を順次4つの切り起こし部122に巻回してゆき、ハリ2を取り付けた端部近傍を切り込み部120に差し込むことにより、釣具の収納が完了して、釣具セット61が完成する。なお、シートの厚みが薄く、ハリスの端部の挟み込みが不十分な場合には、シートの切り込み部119、120近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を挟み込んだ状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込み部を用いずに、前記水溶性テープによって貼着して行ってもよい。

【0034】前記シート121とシート123とを接着するのに用いられる水溶性接着剤は、乾燥状態で接着性を失う水溶性接着剤を用いてもよいし、乾燥状態でも粘着性を失わない水溶性接着剤を用いることも可能である。また、シート121とシート123とを貼り合わせる方法は、上記の水溶性接着剤を用いる以外に、前記シートに水に容易に溶解または分散する材料を用いている場合は、それ自身が接着機能を有しているため、貼り合わせ部分に少量の水分を吹き付け、加熱しながら押圧することにより貼り合わせてもよい。

【0035】ところで、この釣具収納具118を構成するシート123は、必ずしも水に溶解または分散する材料よりなるものを用いる必要はなく、接着剤が水溶性であって水中でシート123が分離されて、ハリス巻回固定部124がなくなり巻回されていたハリスがほぐれさえすれば、非水溶性或いは非分散性であっても機能上は何等問題はない。しかしながら、環境保護への影響を考慮すると、非分散溶解性であるよりも分散溶解されるものが望ましい。

【0036】（第3実施例）図15及び図16は、本発明の釣具収納具の第3の実施例および釣具セットの第3の実施例を示したものであって、図15は本発明の釣具収納具の構成、図16は本発明の釣具収納具を用いて図79の釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。

【0037】図15に示す釣具収納具125は、図79の釣具51を収納するのに好適なもので、以下のように

構成されている。釣具収納具125は、上部及び下部に突起127、129を有する横幅の広いI字形の水に容易に溶解または分散する材料からなるシート126であって、その右上部側の突起部127に下から切り込みを入れることにより形成されたハリスの端部を固定するための固定部128と、また左下部側の突起部129に上から切り込みを入れることにより形成されたハリスを固定するための固定部130とが形成されている。

【0038】上記釣具収納具125を用いて図16の釣具セット62を作成するためには、図16に示すように、釣具のハリス1のハリ2接続部近傍を、固定部130に挟み込んで固定し、次にハリス1をシート126の中央部一体にほぼ均一になるように巻回し、該ハリス1のスナップ3接続側の端部近傍を固定部130に固定する。それにより釣具の収納が完了すると共に、釣具セット62が完成する。なお、シートの厚みが薄く、ハリスの端部の固定が不十分な場合には、シートの固定部128、130近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を固定した状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込みを用いずに、前記水溶性テープによって貼着して行ってもよい。

【0039】（第4実施例）図17及び図18は、本発明の釣具収納具の第4の実施例および釣具セットの第4の実施例を示したものであって、図17は本発明の釣具収納具の構成、図18は本発明の釣具収納具を用いて図80の釣具52を収納した場合の釣具セットを示している。

【0040】図17に示す釣具収納具131は、釣具を収納するのに好適なもので、水に容易に溶解または分散する材料からなる四角形のシート132で構成されている。その使用状態を示す図18を参照して説明すると、その左上部には釣具のハリス1の端部を挟み込んで固定するための固定部133が、またその右側の端部には枝ハリス5及びハリス1の端部を挟み込んで固定するための固定部134が形成されている。更に、内面左側から中央部にかけて、スナップ3の接続部から枝ハリス5の接続部までの間のハリス1を巻回固定しておくための互いに向かい合った一対の切り起こし部135、136と、枝ハリス5の接続部からハリ2の接続部までのハリス1を巻回固定しておくための、同様の切り起こし部137、138が形成され、更に内面右上側には枝ハリスを巻回固定するための、互いに向かい合った一対の切り起こし部（切り起こし片）139、140が形成されている。なお、シート132の形状は、必ずしも四角形に限定されるものではなく、その形状は円形、三角形等任意に設定できる。

【0041】上記釣具収納具131を用いて図18の釣具セット63を作成するためには、まず、図18に示す

ように、釣具のハリス1のハリ2の接続部近傍を、固定部134に固定して一对の切り起こし部137、138にハリ2の接続部から枝ハリス5の接続部までのハリス1を巻回する。次に、スナップ3の接続側のハリス1の端部を固定部133に固定し、枝ハリス5の接続部からスナップ3の接続部までのハリス1の残りの部分を、一对の切り起こし部135、136に巻回すると共に、枝ハリス5は、一对の切り起こし部139、140に巻回しハリ4接続部側の端部を固定部134に固定することにより、釣具の収納が完了して、釣具セット63が完成する。なお、シートの厚みが薄く、ハリスの端部の固定が不十分な場合には、シートの固定部133、134近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を固定した状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込み部を用いずに、前記水溶性テープによって貼着して行ってもよい。なお、シート132に一对の切り起こし部を更に多く設ければ、図88の釣具54を収納することも可能である。

【0042】(第5実施例)図19及び図20は、本発明の釣具収納具の第5の実施例および釣具セットの第5の実施例を示したものであって、図19は本発明の釣具収納具の構成、図20は本発明の釣具収納具を用いて図79の釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。

【0043】図19に示す釣具収納具141は、図79の釣具51を収納するのに好適なもので、水に容易に溶解または分散する四角形の材料からなるシートの両端部を水溶性接着剤で接着して筒形体142を作り、該筒形体142の両端部に、外周部にハリスを固定するためのL字形に切り込んだ固定部143を設け、更に中心部に孔を設けた水に容易に溶解または分散する材料からなるフランジ145と、固定部144を設けた前記と同様のフランジ146とを水溶性接着剤で貼着することにより構成されている。

【0044】上記釣具収納具141を用いて図20の釣具セット64を作成するためには、まず、図20に示すように、釣具のハリス1のハリ2の接続部近傍を、固定部143に挟み込んで固定する。次にハリス1を筒形体142に順次巻回していき、ハリス1のスナップ3の接続側の端部を固定部144に挟み込んで固定することにより、釣具の収納が完了して、釣具セット64が完成する。なお、フランジの厚みが薄く、ハリスの端部の固定が不十分な場合には、シートの固定部143、144近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を固定した状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込み部を用いずに、前記水溶性テ

ープによって貼着して行ってもよい。

【0045】(第6実施例)図21及び図22は、本発明の釣具収納具の第6の実施例および釣具セットの第6の実施例を示したものであって、図21は本発明の釣具収納具の構成、図22は本発明の釣具収納具を用いて図80の釣具52を収納した場合の釣具セットを示している。

【0046】図21に示す釣具収納具147は、釣具を収納するのに好適なもので、水に容易に溶解または分散する四角形の材料からなるシートの両端部を接着して筒形体148を作り、該筒形体148の両端部及びその間を3等分した中間部分に、外周部にハリスを固定するためのL字形に切り込んだ固定部149、150、151、152を設け、更に中心部に孔を設けた水に容易に溶解または分散する材料からなるフランジ153、154、155、156を、等間隔に水溶性接着剤で接着したものである。

【0047】上記釣具収納具147を用いて図22の釣具セット65を作成するためには、まず、釣具のハリ2の接続部近傍のハリス1を、フランジ153に設けられた固定部149に差し込んで固定し、ハリ2接続部から枝ハリス5接続部までのハリス1を下段の筒形体148に順次巻回し、枝ハリス5との接続部近傍のハリス1をフランジ154の固定部150aに挟み込んで固定する。次に、枝ハリス5を中段の筒形体148に順次巻回し、ハリ4の接続部近傍の枝ハリス5をフランジ154に設けられた固定部150に差し込んで固定すると共に、枝ハリス5の接続部からスナップ3の接続部までの残りのハリス1をフランジ155と156の間の上段の筒形体148に順次巻回し、スナップ3の接続側の該ハリス1の端部を固定部152に挟み込んで固定することにより、釣具の収納が完了して、釣具セット65が完成する。なお、フランジの厚みが薄く、ハリスの端部の固定が不十分な場合には、シートの固定部149～152近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を固定した状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込み部を用いずに、前記水溶性テープによって貼着して行ってもよい。なお、筒形体148を長くし、フランジを更に多く設ければ、図88の釣具54を収納することも可能である。

【0048】(第7実施例)図23ないし図27は、本発明の釣具収納具の第7の実施例および釣具セットの第7の実施例を示したものであって、図23ないし図25は本発明の釣具収納具の構成、図26及び図27は本発明の釣具収納具を用いて図83の釣具53を収納した場合の釣具セットを示している。

【0049】図25の釣具収納具157は、図23に示すような、左右両端部のほぼ中央部に釣具のハリス(図

83の33)の端部を挟み込んで固定するためのハリス固定部158、159と、内面上側と下側にそれぞれ一直線上に枝ハリス(図83の35)の接続部間のハリス33を巻回固定しておくための上下に互いに向かい合った一対の切り起こし部による巻回固定部160、161と、同様の巻回固定部162、163と、同様の巻回固定部164、165と、同様の巻回固定部166、167と、同様の巻回固定部168、169と、同様の巻回固定部170、171と、同様の巻回固定部172、173とが形成された水に容易に溶解または分散する材料からなる四角形のシート174と、図24に示すような、3分割された部分に谷折り線175、176を有すると共に、谷折り線176側の端片面部分の表面に水溶性粘着剤を塗布し、その塗布面177aに剥離紙178を貼着した水に溶解または分散する材料からなる細長い四角形のシート179とから構成されている。この釣具収納具157は、イカ釣り用の釣具を収納するのに好適なものであり、前記四角形のシート174の中央部は横一直線上に、前記シート179の谷折り線175と176の間の裏面が等間隔で貼着され、釣具のツノおよびハリス等を同時に収納可能なものである。なお、シート174の形状は、必ずしも四角形に限定されるものではなく、その形状は円形、三角形等、任意に設定することができる。

【0050】上記の前記釣具収納具157に図83の釣具53を収納して図26及び図27の釣具セット66を作成するためには、まず、図26に示すように、釣具のハリス33のスナップ31の接続部近傍を、ハリス固定部158に挟み込んで固定し、一対の巻回固定部160、161にハリス33を枝ハリス35の接続部まで巻回し、ツノ36をシート179の中央部分に置き、図24の谷折り線175、176を谷折りして剥離紙178を剥し、その折込部分の両端を粘着剤177で粘着することにより、該ツノ36を固定する。同様に、一対の巻回固定部162、163、一対の巻回固定部164、165、一対の巻回固定部166、167、一対の巻回固定部168、169、一対の巻回固定部170、171、一対の巻回固定部172、173とに、それぞれハリス33を順次巻回すると共に、これらの間に位置するシート179に対応するツノ36をそれぞれ粘着固定することにより、釣具の収納が完了して、釣具セット66が完成する。なお、シートの厚みが薄く、ハリスの端部の固定が不十分な場合には、シートの固定部158、159近傍を、水溶性または水分散性接着剤を塗布した水溶性紙を積層するなどして補強してもよい。また、ハリスの端部を固定した状態で、その上に水溶性粘着剤を塗布した水溶性テープを貼着し、補強してもよい。さらにまた、ハリスの固定は、切り込み部を用いずに、前記水溶性テープによって貼着して行ってもよい。また、枝ハリス35が長い場合は、最寄りの巻回固定部

に巻回して固定してもよい。

【0051】(第8実施例)図28ないし図32は、本発明の釣具収納シートの第1の実施例及び釣具セットの第8の実施例を示したものであり、図28及び図29は本発明の釣具収納シートの構成、図30及び図31は本発明の釣具収納シートへの釣具収納手順、図32は本発明の釣具収納シートを用いて図79に示す釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。

【0052】この釣具収納シート200は、前記した水に容易に溶解または分散する材料からなる正方形のシート201の4箇所の角部を所定の面積だけ谷折に折り畳むための折り畳み線202、203、204、205が設けられ、更にこの折り畳み線202の右半分及び折り畳み線204左半分には釣具のハリスを通すためのスリット206、207がそれぞれ設けられていると共に、これら折り畳み線を境界とするシート201の角部側の三角形部分に前記した水溶性粘着剤を塗布した粘着面208を形成し、その粘着面208に剥離シート209が貼着された構成を有している。なお、シート201の形状は、正方形のものを一例として説明したが、必ずしもこれに限定されるものではなく、円形や他の多角形及びこれらの組み合わせ変形など任意である。したがって、ハリスの巻回及び束ね方は、円形に巻回する以外にも、それを縦長にしたり、横長にしたり、あるいは巻回部分を複数に分割したりするなど、採用されるシートの形態により様々に変化する。

【0053】図30および図31は本発明の釣具収納シート200への図79に示す釣具51の収納手順を示したものである。まず、釣具収納シート200の前記折り畳み線202、203、204、205で囲まれた内周側に釣具のハリス1を巻回し、その巻回部分を指等で仮固定しておき、折り畳み線205を谷折りして剥離シート209を剥してから粘着面208でハリス1の巻回部分をシート201に粘着固定する。次に、折り畳み線203を谷折りして剥離シート209を剥してから粘着面208でハリス1の巻回部分をシート201に粘着固定する。次に、スナップ3の付いた側のハリス1の端部を前記スリット206に通してから、折り畳み線202を谷折りして剥離シート209を剥してから粘着面208でハリス1の巻回部分をシート201に粘着固定する。次に、ハリス2の付いた側のハリス1の端部を前記スリット207に通してから、折り畳み線204を谷折りして剥離シート209を剥してから粘着面208でハリス1の巻回部分をシート201に粘着固定する。このような収納手順を経ることにより、前記釣具は本発明の釣具収納シート200への収納が完了し、図32の釣具セット70が完成する。この釣具セット70は、プラスチックフィルムよりなる包装袋などにパッケージすることにより、セット製品として販売することが可能である。

【0054】前記シート201の粘着面208に塗布さ

れる水溶性接着剤は、乾燥状態でも粘着性を失わず更に湿度の高い空気中でも軟化することがなく常態で凝集力と粘着力を兼備し、水中に浸すと容易に分散または溶解するものが望ましい。

【0055】本発明の釣具収納シート200は、水に容易に溶解または分散する材料よりなるシートで構成されているため、釣具を釣具収納シート200より取り外す必要はまったくなく、収納したままの状態、そのまま使用可能であるという利点がある。したがって、この釣具セット70を購入し、パッケージされているプラスチックフィルムよりなる包装袋を開封すれば、収納されている釣具を取り出す必要がなく、直ちにその釣具セット70をそのままの状態で使用することができる。

【0056】(第9実施例)図33及び図34は、本発明の釣具収納シートの第2の実施例及び釣具セットの第9の実施例を示したものであって、図33は本発明の釣具収納シートの構成、図34は本発明の釣具収納シートを用いて図80に示す釣具52を収納した場合の釣具セットを示している。

【0057】この釣具収納シート220は、第8の実施例における釣具収納シート200(図28)を、折り畳み線部分で3個縦方向に接続した形状のものであって、そのシート221には8本の折り畳み線222、223、224、225、226、227、228、229が設けられ、更にこの折り畳み線222の右半分と、折り畳み線226の左半分、折り畳み線228の上半分には図80に示す釣具52のハリス1及び枝ハリス5を通すためのスリット230、231、232が設けられていると共に、これら折り畳み線を境界とするシート221の角部側の三角形部分に接着剤を塗布した粘着面(図示せず)を形成し、その粘着面に剥離シート233を貼着することにより構成されている。更に、釣具の収納完了後、これを3つに折り畳むための谷折りまたは山折の折り畳み線234、235を有している。

【0058】本発明の釣具収納シート220に前記釣具を収納して図34の釣具セット71を作成するためには、まず、図33に示す釣具収納シート220の前記折り畳み線222~229で囲まれた内側に、図80の釣具のスナップ3取付側から枝ハリス5の接続部までのハリス1を巻回し、その巻回部分を指等で仮固定しておき、折り畳み線223を谷折りし剥離シート233を剥してから、粘着面でハリス1の巻回部分をシート221に粘着固定する。そして、折り畳み線229を谷折りし剥離シート233を剥してから粘着面でハリス1の巻回部分をシート221に粘着固定する。次に、スナップ3の付いた側のハリス1の端部を前記スリット230に通してから、折り畳み線222を谷折りし剥離シート233を剥してから粘着面でハリス1の巻回部分をシート221に粘着固定する。次に、ハリ4の付いた枝ハリス5を巻回し、その巻回部分を指で仮固定しておき、折り畳

み線224を谷折りして剥離シート233を剥してから粘着面で枝ハリス5の巻回部分をシート221に粘着固定する。そして、枝ハリス5の端部を前記スリット232に通し、ハリ4を外に出してから、折り畳み線228を谷折りして剥離シート233を剥してから粘着面で枝ハリス5の巻回部分をシート221に粘着固定する。

【0059】次に、枝ハリス5の接続部からハリ2取付部までの残りのハリス1を巻回し、その巻回部分を指で仮固定しておき、折り畳み線225を谷折りして剥離シート233を剥してから粘着面でハリス1の巻回部分をシート221に粘着固定する。そして、折り畳み線227を谷折りして剥離シート233を剥してから粘着面でハリス1の巻回部分をシート221に粘着固定する。更に、ハリ2の付いた側のハリス1の端部を前記スリット231に通してから、折り畳み線226を谷折りして剥離シート233を剥してから粘着面でハリス1の巻回部分をシート221に粘着固定する。このような収納手順を経ることにより、前記釣具は本発明の釣具収納シート220への収納が完了し、釣具セット71が完成する。

完成した釣具セット71は、折り畳み線234を山折りし、また折り畳み線235を谷折りすることにより、3つに折り畳みプラスチックよりなる包装袋にパッケージし、釣具セット製品として販売することが可能である。

【0060】(第10実施例)図35ないし図38は、本発明の釣具収納シートの第3の実施例及び釣具セットの第10の実施例を示し、図35及び図36は本発明の釣具収納シートの構成、図37及び図38は本発明の釣具収納シートを用いて図79に示す釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。

【0061】この釣具収納シート236は、水に容易に溶解または分散する材料からなる4つの角を少しだけカットした正方形のシート237の4箇所の角部を所定の面積だけ谷折に折り畳むための折り畳み線238、239、240、241が設けられ、更にこの折り畳み線240の角部に粘着面242を有する封止シート243の一部が貼着され、他の粘着面242に剥離シート244を貼着することにより構成されている。

【0062】本発明の釣具収納シート236に前記釣具を収納して図37の釣具セット72を作成するためには、まず、図35に示す釣具収納シート236の前記折り畳み線238、239、240、241で囲まれた内側に釣具のハリス1を巻回し、その巻回部分を指等で仮固定しておき、折り畳み線238、239、241でシートの角部を谷折りし、次に折り畳み線240でシートの角部を谷折りして剥離シート244を剥してから封止シート243の粘着面242でハリス1の巻回部分及びシート237の角部の先端をシート237の中心部に粘着固定する。このような収納手順を経ることにより、前記釣具は本発明の釣具収納シート236への収納が完了し、釣具セット72が完成する。なお、釣具収納シート

236の形状は、必ずしも正方形に限定されるものではなく、円形、三角形、その他多角形等、任意に設定することができる。

【0063】(第11実施例)図39ないし図43は、本発明の釣具収納シートの第4の実施例及び釣具セットの第11の実施例を示し、図39ないし図41は本発明の釣具収納シートの構成、図42及び図43は本発明の釣具収納具を用いて図79の釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。

【0064】釣具収納シート245は、下部を所定の長さだけ谷折に手前に折り畳み、左右両端部247a、248aと中央の仕切部246を接着することにより、ハリ及びスナップを収納するための収納部247、248を設けた四角形のシート249(図39)と、水に容易に溶解または分散する材料からなるシート250に剥離シート251を貼着した粘着面を形成した固定シート253(図40)とから構成されている。

【0065】本発明の釣具収納シート245に前記釣具を収納して図42に示す釣具セット73を作成するためには、まず、釣具収納シート245のシート249の表面に釣具のハリス1を巻回し、その巻回部分を指で仮固定しておき、2枚の固定シート253の剥離シート251を剥し、図43のようにシート250の粘着面252でハリス1の巻回部分をシート249に粘着固定すると共に、ハリス1の端部に接続されたスナップ3及びハリ2は収納部247、248の内部に収納する。このような収納手順を経ることにより、前記釣具は本発明の釣具収納シート245への収納が完了し、釣具セット73が完成する。なお、収納部247、248は、内部に収納したハリ2およびスナップ3が出にくくなるように、これらがギリギリに入る程度の大きさにするのが望ましい。

【0066】(第12実施例)図44ないし図49は、本発明の釣具収納シートの第5の実施例及び釣具セットの第12の実施例を示し、図88の釣具54を収納するのに好適な釣具収納シート及び釣具セットである。すなわち、図44及び図45は本発明の釣具収納シートの構成、図46は本発明の釣具収納シートに釣具54を収納する際の収納状態、図47及び図48は本発明の釣具収納シートを用いて図88の釣具54の収納が完了した状態の釣具セットを示し、図49はその使用状態を説明する図である。

【0067】図44および図45に示す釣具収納シート254は以下のように構成されている。すなわち、水に容易に溶解または分散する材料からなる4角形のシート255の上部及び下部に、該シート255を所定の長さだけ谷折に手前に折り畳むための折れ線256と折れ線257が設けられている。折れ線256からシート上端部までの間に、剥離シート258が貼着され帯状に形成された粘着面259を、横方向に6等分する切り込みを

設けることにより形成されるハリス及びハリの軸部分を固定するための6組のハリス固定部260、261、262、263、264、265が設けられている。各ハリス固定部260、261、262、263、264、265下端部中央の折れ線256上に、所定の長さで設けられたハリのハリ先部分を通すためのスリット266、267、268、269、270、271が設けられている。折れ線257から該シート下端部までの間に、剥離シート272が貼着され、帯状に形成された粘着面273を、横方向に6等分する切り込みを設けることにより形成されるハリスを固定するための6組のハリス固定部274、275、276、277、278、279が設けられている。ハリス固定部274の上側に、スナップ(図88の31)が取り付けられた側のハリスの端部を固定するためのL字形のハリス固定部280が形成されている。ハリス固定部279の上側に、スナップ(図88の32)が取り付けられた側のハリスの端部を固定するためのL字形のハリス固定部281が形成されている。なお、破線282は、ハリス固定部260、261、262、263、264、265を、折れ線256で折り畳んだ場合の折り畳み位置を示しており、また破線283は、ハリス固定部274、275、276、277、278、279を、折れ線257で折り畳んだ場合の折り畳み位置を示している。

【0068】図46は釣具を収納する際の収納手順を示したもので、まずスナップ31を取付けたハリス33の端部をハリス固定部280に挟み込み、枝ハリス35の接続部までのハリス33を巻回して指などで仮固定し、ハリ34のハリ先部分を外部に出しながら剥離シート(図44および図45の258)を剥し、ハリス固定部260を折れ線256で谷折りに折り畳み、ハリ34の軸部分及びハリス33の巻回部分を粘着面259により粘着固定し、更に剥離シート272を剥しハリス固定部274を折れ線257で谷折りに折り畳み、スナップ31接続部から1本目と2本目の枝ハリス35接続部の中間部までのハリス33の巻回部分を粘着面273により粘着固定する。以下同様にして、枝ハリス35の接続部間のハリス33を、ハリス固定部261、262、263、264、265及びハリス固定部275、276、277、278、279で固定し、スナップ32を取付けたハリス33の端部をハリス固定部281に挟み込みこむことにより固定する。このような収納手順を経ることにより、前記釣具は本発明の釣具収納シート254への収納が完了し、図47及び図48に示す釣具セット74が完成する。図49は、台284上に置かれたアミエビ285を、上記釣具セット74のハリ34に取り付けている状態を示したものである。なお、アミエビ285は、多量の水分を含んでいるため、なるべくハリス固定部260、261、262、263、264および265につけないようにする。また、枝ハリス35が長い場

21

合には、最寄りの巻回固定部に巻回固定してもよい。

【0069】(第13実施例)図50ないし図53は、本発明の釣具収納シートの第6の実施例及び釣具セットの第13の実施例を示し、図83の釣具53を収納するのに好適な釣具収納シートである。図50及び図51は本発明の釣具収納シートの構成、図52及び図53は本発明の釣具収納シートを用いて図83の釣具53を収納した場合の釣具セットを示している。

【0070】図50および図51の釣具収納シート286は以下のように構成されている。すなわち、水に容易に溶解または分散する材料からなる4角形のシート287のほぼ中央一直線上に、右半分に剥離シート289を貼着した水溶性粘着剤を塗布したツノを固定するための粘着面288を有する、水に容易に溶解または分散する材料からなる6つの小さな4角形のツノ固定シート291、292、293、294、295、296が等間隔に配置され、各ツノ固定シートの左端に設けられた水溶性接着剤を塗布した接着面290で接着固定されている。また、該シート287の上端部には、水溶性の粘着剤を塗布して剥離シート297を貼着した粘着面298を有し、折れ線299で谷折に手前に折り畳むことによりハリスの巻回部分を固定するための、7つのハリス固定部300、301、302、303、304、305、306が等間隔に配置されている。

【0071】更に、該シート287の下端部には、剥離シート307を貼着した粘着面308を有し、折れ線309で谷折に手前に折り畳むことによりハリスの巻回部分を固定するための、7つのハリス固定部310、311、312、313、314、315、316が等間隔に配置されている。そして、シート287に設けられたハリス固定部300の下側には、クリップの接続部近傍のハリスの端部を固定するためのL字形のスリット317が形成され、またハリス固定部306の下側には、他のクリップの接続部近傍のハリスの端部を固定するためのL字形のスリット318が形成されている。なお、破線319は、ハリス固定部300、301、302、303、304、305、306を、折れ線299で谷折りに折り畳んだ場合の折り畳み位置を示しており、また破線320は、ハリス固定部310、311、312、313、314、315、316を、折れ線309で谷折りに折り畳んだ場合の折り畳み位置を示している。

【0072】本発明の釣具収納シート286に前記釣具を収納して図52及び図53の釣具セット75を作成するためには、まず、図52に示すように、スナップ31を取付けたハリス33の端部をスリット317に挟み込んで固定し、剥離シート(図51の289)を剥してツノ36をツノ固定シート291でシート287に粘着面288で粘着固定する。

【0073】次に、枝ハリス35の接続部までのハリス33を巻回して指などで仮固定し、剥離シート(図51

22

の297)を剥してハリス固定部300を折れ線(図50の299)で谷折りに手前に折り畳み、ハリス33の巻回部分を粘着面298により粘着固定し、更に剥離シート(図51の307)を剥し、ハリス固定部310を折れ線(図51の309)で谷折りに手前に折り畳み、ハリス33の巻回部分を粘着面(図51の308)により粘着固定する。以下同様にして、残り5本のツノ36を、ツノ固定シート292、293、294、295、296で、シート287に粘着固定し、それに接続された枝ハリス35接続部間のハリス33を巻回した残り6箇所のハリス巻回部を、それぞれハリス固定部301と311、ハリス固定部302と312、ハリス固定部303と313、ハリス固定部304と314、ハリス固定部305と315、ハリス固定部306と316とで粘着固定し、更にスナップ32取付側のハリス33の端部をスリット318に挟み込みこむことにより固定する。このような収納手順を経ることにより、前記釣具は本発明の釣具収納シート(図50の286)への収納が完了し、図52及び図53に示すような釣具セット75が完成する。なお、枝ハリス35が長い場合には、最寄りのハリス固定部に粘着固定してもよい。

【0074】(第14実施例)図54ないし図57は、本発明の釣具収納袋の第1の実施例及び釣具セットの第14の実施例を示し、図54及び図55は本発明の釣具収納袋の構成、図56及び図57は本発明の釣具収納袋を用いて図79の釣具51を収納した場合の釣具セットを示している。

【0075】図54および図55の釣具収納袋400は、以下のように構成されている。すなわち、釣具収納袋400を構成する袋体は、前記した水に容易に溶解または分散する材料からなる、正方形の上部を略V字形の切り込み401を有するシート402と、横一直線の谷折り線403に対して、正方形の下部分404と上下逆の略V字形の上部分405とから成るシート406との、2枚のシートから成る。次に、このシート402とシート406の下部分404とを、左右両端部及び下端部が一致するように重ね合わせ、これら端部を所定の幅で前記した水溶性の接着剤407を用いて接着することにより開口部408を有する袋体を構成する。更に、その袋体の上部分405は、その表面全体に後述する水溶性粘着剤を塗布した粘着面409が形成され、その粘着面409には剥離可能な剥離シート410が貼着されると共に、それを下側に谷折りに折り畳むと破線411まで達し、前記シート402の上部に形成された略V字形の切り込み部401を完全に覆い隠すようになっている。

【0076】図56及び図57は、本発明の釣具収納袋に、図79に示す釣具51を収納した場合の釣具セットを示したものである。まず、図54で示される本発明の釣具収納袋400の開口部408を開いて、釣具のハリ

50

ス1を巻回しその巻回部分を袋内部に挿入して指などで仮固定し、スナップ3及びハリ2は該釣具収納袋400の谷折り線403の両端部側にはみ出させた状態にして、袋体の上部分405を手前側に谷折りし、剥離シート410を剥して開口部408を粘着により封止する。このようにして釣具51を収納することにより釣具セット80が完成する。この釣具セット80は、ハリス1の巻回部分の一部が袋内部で粘着面409によりしっかりと粘着固定されるため、短めのハリス1ならさほど問題にならないものの、長目のハリス1を数多くのターン数巻回した場合であっても、振動等によりハリス1の巻回状態が変形したりすることもないためハリス1同士が絡む心配がない。

【0077】前記シート402とシート406とを接着するのに用いられる水溶性接着剤は、前記した乾燥状態で接着性を失う水溶性接着剤を用いてもよいし、乾燥状態でも粘着性を失わない水溶性接着剤を用いることも可能である。また、感熱性水溶性紙を使用した場合には、ヒートシールで接着することも可能である。また、シート402とシート406とを貼り合わせる方法は、上記の水溶性接着剤を用いる以外に、前記シートに水に容易に溶解または分散する材料を用いている場合は、それ自身が接着機能を有しているため、貼り合わせ部分に少量の水分を吹き付け、加熱しながら押圧することにより貼り合わせてもよい。

【0078】(第15実施例)図58ないし図60は、本発明の釣具収納袋の第2の実施例及び釣具セットの第15の実施例を示したもので、第14の実施例の釣具収納袋400を3セット分横一列に連結した形状のものである。すなわち、図58は本発明の釣具収納具の構成、図59は図80の釣具52を収納するためハリス1の巻回状態、図60は本発明の釣具収納袋を用いて釣具の収納が完了した状態の釣具セットを示している。

【0079】図58の釣具収納袋421は、以下のように構成されている。すなわち、釣具収納袋421を構成する、水に容易に溶解または分散する材料よりなり、正方形の上部を略V字形の切り込み422、423、424を有するシートを3枚横一列に並べ結合した形状のシート425と、横一直線の谷折り線426、427、428に対して、正方形の下部分429、430、431と上下逆の略V字形の上部分432、433、434とから成るシートを3枚横一列に並べ結合した形状のシート435との、2枚のシートから成る。次に、前記シート425とシート435の下部分429、430、431とを、左右両端部及び下端部が一致するように重ね合わせ、これら端部及び3等分した中間の部分を所定の幅で水溶性接着剤を用いて接着することにより、3つの開口部436、437、438を有する3つの袋体を構成する。更に、これら3つの袋体の上部分432、433、434は、その表面全体に粘着剤塗布面が形成さ

れ、その粘着剤塗布面には剥離可能な剥離シート439、440、441が貼着されると共に、それを下側に谷折りに折り畳むと破線442、443、444まで達し、前記シート425の上部に形成された略V字形の切り込み部422、423、424を完全に覆い隠すようになっている。

【0080】図59は、ハリスにハリ2、4およびスナップ3を取り付けた釣具について、ハリス1及び枝ハリス5を、本発明の釣具収納袋421に収納する際の巻回状態を示したもので、これら巻回部分445、446、447は、前記3つの袋体に収納する際に適時作成する。本発明の釣具収納袋に、上記釣具を収納して図60の釣具セット81を作成するためには、まず、釣具のハリス1を巻回して巻回部分445を形成し、その巻回部分445を袋の開口部(図58の436)の内部に挿入して指などで仮固定し、スナップ3は谷折り線426の一端部側にはみ出させた状態にして、袋体の上部分432を手前側に谷折りし、剥離シート439を剥して開口部436を粘着により封止する。次に、釣具の枝ハリス5を巻回して巻回部分446を形成し、その巻回部分446を袋の開口部437の内部に挿入して指などで仮固定し、ハリ4は谷折り線427の一端部側にはみ出させた状態にして、袋体の上部分433を手前側に谷折りし、剥離シート440を剥して開口部437を粘着により封止する。更に、釣具のハリス1を巻回して巻回部分447を形成し、その巻回部分447を袋の開口部438の内部に挿入して指などで仮固定し、ハリ2は谷折り線428の一端部側にはみ出させた状態にして、袋体の上部分434を手前側に谷折りし、剥離シート441を剥して開口部438を粘着剤により封止する。

【0081】このようにして釣具を収納することにより、ハリス1の巻回部分445、446、447の一部は袋内部で粘着剤によりしっかりと固定されるため、短めのハリス1ならさほど問題にならないものの、長目のハリス1及び枝ハリス5を数多くのターン数巻回した場合であっても、振動等によりハリス1及び枝ハリス5同士が絡む心配がない。このような収納手順を経ることにより、上記釣具の、シート425および435よりなる釣具収納袋421への収納が完了し、釣具セット81が完成する。

【0082】(第16実施例)図61ないし図66は、本発明の釣具収納袋の第3の実施例及び釣具セットの第16の実施例を示したものである。この釣具収納袋448は、第14の実施例の釣具収納袋400を変形小型化し、更に該釣具収納袋7セット分を横一列に連結した形状の釣具収納袋448を示したもので、図88の釣具54を収納するのに好適である。図61及び図62は本発明の釣具収納袋448の構成、図63及び図64は本発明の釣具収納袋に図88に示す釣具54を収納する際の収納手順、図65は本発明の釣具収納袋448を用いて

25

釣具を収納した場合の釣具セットを示し、図66はその使用状態を示している。

【0083】図61および62の釣具収納袋448は、1枚の細長いシート449と、このシート449よりも丈の長さが上方向に延長されたシート450と、一辺がこれらシートの長手方向の7分の1以内の大きさの7枚のシート451とから構成され、シート449とシート450とは、左右両端部及び下端部が一致するように重ね合わせられ、上端部を除くこれら端部が接着されると共に、これらシート449、450は長手方向に等間隔

で7等分され、所定の間隔で設けられた仕切り部452、453、454、455、456、457とが接着されることにより、釣具のハリス33を収納するための7連の袋体458、459、460、461、462、463、464が形成されている。

【0084】そして、その袋体458の左上端部と、袋体464の右上端部には、収納される釣具のハリスを挟み固定するためのL字形の2つのスリット465、466が設けられている。また、シート450の上端延長部分は、剥離シート467が貼着された粘着面468が形成され、更に前記6箇所の仕切り部の部分と同じ間隔でスリット469が設けられ、前記7連の袋体の開口部分を封止するための封止部470、471、472、473、474、475、476を形成している。また、前記7枚のシート451は、中央部左半分にスリット477がまた右半分に谷折り線478が形成され、表面の上半分は剥離シート479を貼着した粘着面480が形成されている。このシート451の下半分を、前記7連の袋体458、459、460、461、462、463、464の下端部中央にそれぞれ貼着することにより、収納される釣具のハリを支持するための支持部481、482、483、484、485、486、487が形成される。以下、上記のように構成された本発明の釣具収納袋448の使用態様に付いて説明を行う。

【0085】図63及び図64は、本発明の釣具収納袋への図88に示す釣具54の収納手順を示したものである。まず本発明の釣具収納袋448の袋体458上部に形成されたスリット465に、スナップ31を接続した側のハリス33端部を挟み込み、次にハリス33をスリット（図61の477）を通してから剥離シート（図62の479）を剥し、シート（図61および図62の451）を谷折り線（図61の478）で谷折りすることにより、枝ハリス35に接続されたハリ34の軸部分を支持固定させ、スナップ31接続部から枝ハリス35の接続部までのハリス33を巻回してその巻回部分を、袋体458の内部に収納し封止部470を封止する。同様にして、釣具54の中間部分のハリ34の軸部分を支持部481、482、483、484、485、486、487に支持固定しながら、ハリ34に接続されている枝ハリス35の接続部間のハリス33を巻回して巻回部

26

を形成しながら順次袋体に収納してゆき、残りのハリス33の端部をスリット466に挟み込み固定する。なお、枝ハリス35が長い場合は、最寄りの袋体に収納してもよい。

【0086】このような収納手順を経ることにより、上記釣具の本発明の釣具収納袋448への収納が完了し、釣具セット82が完成する。この釣具セット82は、水に容易に溶解または分散する材料で構成されているため、図66に示すように、台488の上に置かれたアミエビ489を直接この釣具セット82のハリ34部分に付けて、スナップ31部分を道糸に接続することにより釣りをすることが可能である。なお、アミエビ489は多量の水分を含んでいるため、なるべく袋体の支持部481、482、483、484、485、486、487につけないようにする。

【0087】（第17実施例）図67ないし図72は、本発明の釣具収納袋の第4の実施例及び釣具セットの第17の実施例を示すものである。図67ないし図69は、本発明の釣具収納袋の構成、図70ないし図72は本発明の釣具収納袋490を用いて図80の釣具52を収納した場合の釣具セットを示している。

【0088】図67ないし図69の釣具収納袋490は、以下のように構成されている。すなわち、釣具収納袋490を構成する袋体は、水に容易に溶解または分散する材料よりなり、正方形の上部を略V字形の切り込み491を有するシート492と、横一直線の谷折り線493に対して、正方形の下部分494と上下逆の略V字形の上部分495とからなるシート496との2枚のシートと、各辺の一つ置きに突起部497及びその突起部497にハリスを挟み込み固定するためのスリット498を有する8角形のシート499とからなる。そして、このシート492とシート496の下部分494とを、左右両端部及び下端部が一致するように重ね合わせ、これら端部を所定の幅で水溶性接着剤500を用いて接着することにより開口部501を形成する袋体を構成する。更に、その袋体の上部分495は、その内面全体に水溶性の粘着剤を塗布した粘着面502が形成され、その粘着面502には剥離可能な剥離シート503が貼着されると共に、上部分495を谷折り線493より下側に折り畳むと破線504まで達し、前記シート492の上部に形成された開口部501を完全に覆い隠すようになっている。また、シート496の下部分494の表面のほぼ中心部には、前記シート499が貼着されることにより、シート499の突起部497と該シート496の下部分494との接着部にハリスを巻回するための巻回部506が形成される。

【0089】本発明の釣具収納袋490に釣具を収納して図70～72の釣具セット83を作成するためには、まず、図80に示す釣具52のスナップ3取付部分から枝ハリス5の接続部までのハリス1を巻回し、次に図6

7～69の釣具収納袋490の開口部501を開いて、その巻回部分を袋内部に挿入して指などで仮固定し、スナップ3、ハリ4付きの枝ハリス5及びハリ2付きのハリス1は該釣具収納袋490の谷折り線493の両端部側にはみ出させた状態にして、袋体の上部分495を手前側に谷折りし、剥離シート503を剥して開口部505を粘着剤により封止する。更に、袋体に収納されないハリ4を接続した枝ハリス5の接続部からハリ2接続部までのハリス1は、シート496の下部分494に形成された巻回部506に巻回し、その端部が前記スリット498に挟み固定することにより、釣具の収納が完了すると共に、釣具セット83が完成する。なお、ハリ4付きの枝ハリス5が短い場合は、絡む心配があまりないため、そのままの状態とし、長い場合は前記シート492または袋体の上部分495に、前記と同様のハリス止め部を有する巻回部を形成しその巻回部に枝ハリス5を巻回して固定してもよい。

【0090】このようにして釣具52を収納することにより、スナップ3とハリ4付きの枝ハリス5の接続部間のハリス1を巻回した巻回部分の一部は袋内部で粘着剤502によりしっかりと粘着固定されるため、短めのハリス1ならばほとんど問題にならないものの、長目のハリス1を数多くのターン数巻回した場合であっても、振動等によりハリス1の巻回状態が変形したりすることもないためハリス1同士が絡む心配がない。更に、ハリ4付きの枝ハリス5の接続部とハリ2の接続部との間のハリス1は、巻回部506に巻回されてスリット498に挟み固定されているため、ハリス1同士が絡む心配がない。

【0091】（第18実施例）図73ないし図78は、本発明の釣具収納袋の第5の実施例及び釣具セットの第18の実施例を示したもので、図83の釣具53を収納するのに好適な釣具収納具及び釣具セットである。すなわち、図73ないし図75は本発明の釣具収納袋507の構成、図76ないし図78は本発明の釣具収納具507を用いて釣具を収納した場合の釣具セットを示している。

【0092】図73および図75の釣具収納袋507は、1枚の細長い水に容易に溶解または分散する材料からなるシート508と、該シート508の中間部に5箇所ハリス収納部510、511、512、513、514を形成するための5枚の同じく水に容易に溶解または分散する材料からなるシート516と、図74に示す細長い長方形の同じく水に容易に溶解または分散する材料からなるシート517とから構成されている。

【0093】このシート508は、左右両端部が所定の幅で谷折りされてそれぞれ折り畳まれ、下端部が一致するように重ね合わせ、上端部を除くこれら端部が接着されることにより、ハリス収納部509、515を形成している。これら折り畳み部分と同一形状の5枚の前記シート516が等間隔に配置され、その左右両端部及び下

端部がシート508に貼着されていて、上記5箇所のハリス収納部が形成されている。また、該シート508に形成された7箇所のハリス収納部分は、上側に所定の長さが延長される共に、その延長部分に剥離シート522を貼着した粘着面523が形成され、延長部分を手前に谷折りすることにより、ハリス収納部509、510、511、512、513、514、515を封止するようになっている（図78参照）。更に、シート517は、谷折り線518、519で3等分され、右部分に剥離シート520を貼着した粘着面521が形成されている。このシート517は、前記シート508に形成されたハリス収納部509、510、511、512、513、514、515の間に、二本の谷折り線518、519に挟まれた部分の裏面側が該シート508に接着され、それぞれ6本のツノを固定するためのツノ固定部524を構成している。

【0094】以下、上記のように構成された本発明の釣具収納袋の使用態様に付いて説明を行う。本発明の釣具収納袋507を用い、釣具を収納して図76～78の釣具セット84を作成するためには、まず本発明の釣具収納袋507の袋体509に、ハリス33を枝ハリス35の接続部まで巻回してその巻回部分を収納し、該枝ハリス35に接続されたツノ36は、ツノ固定部524のシート517を谷折り線（図74の518、519）で折り曲げ両端部でそれを巻くようにして挟み込み、剥離シート（図74の520）を剥して粘着する。この時、スナップ31は外側に出しておく。同様にして、残り5本のツノ36をそれぞれツノ固定部524に固定すると共に、残りの接続部間のハリス33を巻回して6つの巻回部分を形成しその巻回部分を、ハリス収納部510、511、512、513、514、515にそれぞれ収納し、端部のスナップ32を袋体515の外に出して封止を行う。このような収納手順を経ることにより、上記釣具は本発明の釣具収納袋507への収納が完了し、釣具セット84が完成する。この釣具セット84は、これを道糸に直接接続することにより、イカ釣りをすることが可能である

なお、枝ハリスが長い場合には、最寄りのハリス収納部510、511、512、513、514、515に収納してもよい。

【0095】

【発明の効果】以上、詳述したように本発明によれば、巻回し又は束ねたハリスの巻回部又は束ね部分を収納する収納体を水に容易に溶解または分散する材料で形成したことにより、巻癖による扱い難さや、巻癖による絡み等の不都合を回避できると共に、水に容易に溶解または分散する材料が水中で分散溶解されるため、そのまま使用することができ、仕掛け作業の迅速化を図ることが可能であるなどの効果を奏する。また、水中投下による自動巻戻しが可能で取出し作業が簡略化できるため、ハリ

の扱いにも容易になり、事故の防止ができると共に、取り扱いの未熟者によっても釣りを行うことが容易になる。また、投入時の仕掛長を短縮でき、また仕掛投入のための治具も不要となるなど、隣接の釣人への配慮が不要となり、安全性が高くなると共に、キャスト時のハリスと道糸の絡みを防止でき、所望の位置にキャストできるなど、キャストが容易になるなどの効果を奏する。また、シートが水に容易に溶解または分散する材料は、無毒性であり、かつゴミとして残らないため、環境保全上有用であるなどの効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の釣具収納具の第1の実施例の平面図である。

【図2】 本発明の釣具セットの第1の実施例であって、図1の釣具収納具を用いた釣具セットの平面図である。

【図3】 図2の釣具収納具のA-A線断面図である。

【図4】 図2の釣具セットをプラスチック包装袋にパッケージした状態を示す説明図である。

【図5】 図2の釣具セットを用いた磯釣り用仕掛の一例を示した説明図である。

【図6】 キャスティングをした際の、図2の釣具セットの飛翔状態を示した説明図である。

【図7】 図2の釣具セットが水中に投入された直後の状態を示す図である。

【図8】 図2の釣具セットが水中に投入され、溶解開始直後の状態を示す図である。

【図9】 図2の釣具セットが水中に投入され、完全溶解直後の状態を示す図である。

【図10】 図2の釣具セットが水中に投入され、釣具が元に戻った状態を示す図である。

【図11】 本発明の釣具収納具の第2の実施例の平面図である。

【図12】 図11の釣具収納具のB-B線断面図である。

【図13】 本発明の釣具セットの第2の実施例であって、図11の釣具収納具を用いた釣具セットの平面図である。

【図14】 図13の釣具収納具のC-C線断面図である。

【図15】 本発明の釣具収納具の第3の実施例の平面図である。

【図16】 本発明の釣具セットの第3の実施例であって、図15の釣具収納具を用いた釣具セットの平面図である。

【図17】 本発明の釣具収納具の第4の実施例の平面図である。

【図18】 本発明の釣具セットの第4の実施例であって、図17の釣具収納具を用いた本発明の釣具セットの平面図である。

【図19】 本発明の釣具収納具の第5の実施例の斜視図である。

【図20】 本発明の釣具セットの第5の実施例であって、図19の釣具収納具を用いた釣具セットの斜視図である。

【図21】 本発明の釣具収納具の第6の実施例の斜視図である。

【図22】 本発明の釣具セットの第6の実施例であって、図21の釣具収納具を用いた釣具セットの斜視図である。

【図23】 本発明の釣具収納具の第7の実施例に用いる四角形のシートの平面図である。

【図24】 本発明の釣具収納具の第7の実施例に用いる四角形のシートに取り付けられる細長い四角形のシートの平面図である。

【図25】 本発明の釣具収納具の第7の実施例の平面図である。

【図26】 本発明の釣具セットの第7の実施例であって、図25の釣具収納具を用いた釣具セットの平面図である。

【図27】 図26の釣具セットのD-D線断面図である。

【図28】 本発明の釣具収納シートの第1の実施例の平面図である。

【図29】 図28の釣具収納シートのE-E線断面図である。

【図30】 図28の釣具収納シートに釣具を収納する際の収納手順を示した説明図である。

【図31】 図30の釣具収納シートのF-F線断面図である。

【図32】 本発明の釣具セットの第8の実施例であって、図28の釣具収納シートを用いた釣具セットの平面図である。

【図33】 本発明の釣具収納シートの第2の実施例の平面図である。

【図34】 本発明の釣具セットの第9の実施例であって、図33の釣具収納シートを用いた釣具セットの平面図である。

【図35】 本発明の釣具収納シートの第3の実施例の平面図である。

【図36】 図35の釣具収納シートのG-G線断面図である。

【図37】 本発明の釣具セットの第10の実施例であって、図35の釣具収納シートを用いた釣具セットの平面図である。

【図38】 図37の釣具セットのH-H線断面図である。

【図39】 本発明の釣具収納シートの第4の実施例に用いる四角形のシートの平面図である。

【図40】 本発明の釣具収納シートの第4の実施例に

用いる固定シートの平面図である。

【図 4 1】 図 3 9 の四角形のシートの I - I 線断面図である。

【図 4 2】 本発明の釣具セットの第 1 1 の実施例の平面図である。

【図 4 3】 図 4 2 の釣具セットの J - J 線断面図である。

【図 4 4】 本発明の釣具収納シートの第 5 の実施例の平面図である。

【図 4 5】 図 4 4 の釣具収納シートの K - K 線断面図 10 である。

【図 4 6】 図 4 4 の釣具収納シートに釣具を収納する際の収納手順を示した説明図である。

【図 4 7】 本発明の釣具セットの第 1 2 の実施例であって、図 4 4 の釣具収納シートを用いた釣具セットの平面図である。

【図 4 8】 図 4 7 の釣具セットの L - L 線断面図である。

【図 4 9】 図 4 7 の釣具セットへの餌の取付状態を示す図である。 20

【図 5 0】 本発明の釣具収納シートの第 6 の実施例の平面図である。

【図 5 1】 図 5 0 の釣具収納シートの M - M 線断面図である。

【図 5 2】 本発明の釣具セットの第 1 3 の実施例であって、図 5 0 の釣具収納シートを用いた釣具セットの平面図である。

【図 5 3】 図 5 2 の釣具セットの N - N 線断面図である。

【図 5 4】 本発明の釣具収納袋の第 1 の実施例の平面 30 図である。

【図 5 5】 図 5 4 の釣具収納袋の O - O 線断面図である。

【図 5 6】 本発明の釣具セットの第 1 4 の実施例であって、図 5 4 の釣具収納袋を用いた釣具セットの平面図である。

【図 5 7】 図 5 6 の釣具セットの P - P 線断面図である。

【図 5 8】 本発明の釣具収納袋の第 2 の実施例の平面 40 図である。

【図 5 9】 図 5 8 の釣具収納袋に収納する釣具のハリスの巻回状態を示す図である。

【図 6 0】 本発明の釣具セットの第 1 5 の実施例であって、図 5 8 の釣具収納袋を用いた釣具セットの平面図である。

【図 6 1】 本発明の釣具収納袋の第 3 の実施例の平面図である。

【図 6 2】 図 6 1 の釣具収納袋の Q - Q 線断面図である。

【図 6 3】 図 6 1 の釣具収納袋に釣具を収納した場合 50

の収納手順を示す説明図である。

【図 6 4】 図 6 3 の釣具収納袋の R - R 線断面図である。

【図 6 5】 本発明の釣具セットの第 1 6 の実施例であって、図 6 1 の釣具収納袋を用いた釣具セットの平面図である。

【図 6 6】 図 6 5 の釣具セットへの餌の取付状態を示す図である。

【図 6 7】 本発明の釣具収納袋の第 4 の実施例の正面図である。

【図 6 8】 図 6 7 の釣具収納袋の背面図である。

【図 6 9】 図 6 8 の釣具収納袋の S - S 線断面図である。

【図 7 0】 本発明の釣具セットの第 1 7 の実施例であって、図 6 7 の釣具収納袋を用いた釣具セットの平面図である。

【図 7 1】 図 7 0 の釣具セットの背面図である。

【図 7 2】 図 7 1 の釣具セットの T - T 線断面図である。

【図 7 3】 本発明の釣具収納袋の第 5 の実施例の平面図である。

【図 7 4】 図 7 3 の釣具収納袋に取り付けた細長いシートの平面図である。

【図 7 5】 図 7 3 の釣具収納袋の U - U 線断面図である。

【図 7 6】 本発明の釣具セットの第 1 8 の実施例であって、図 7 3 の釣具収納袋を用いた釣具セットの平面図である。

【図 7 7】 図 7 6 の釣具セットの V - V 線断面図である。

【図 7 8】 図 7 6 の釣具セットの W - W 線断面図である。

【図 7 9】 ハリスに 1 本ハリスが接続された、従来の基本的な釣具を示す図である。

【図 8 0】 ハリスに 2 本ハリスが接続された、従来の基本的な釣具を示す図である。

【図 8 1】 図 7 9 及び図 8 0 の釣具を収納するための、従来の釣具収納具の平面図である。

【図 8 2】 図 8 1 の釣具収納具に、図 7 9 及び図 8 0 の釣具を収納した場合の収納状態を示す図である。

【図 8 3】 従来のイカ釣り用の釣具の一例を示す図である。

【図 8 4】 図 8 3 の釣具を収納するための、従来の釣具収納具の一例を示した図である。

【図 8 5】 図 8 4 の従来の釣具収納具の X - X 線断面図である。

【図 8 6】 図 8 4 の従来の釣具収納具の使用態様を示した図である。

【図 8 7】 図 8 6 の釣具収納具の Y - Y 線断面図である。

33

34

【図8】 ハリスに6本ハリが接続された、従来の基本的な釣具を示す図である。

【符号の説明】

- 1、33…ハリス
2、4、34…ハリ
3、31、32…スナップ
5、35…枝ハリス

* 60～66、70～75、80～84…釣具セット

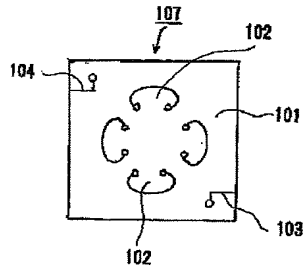
107、118、125、131、141、147、157…釣具収納具

200、220、236、245、254、286…釣具収納シート

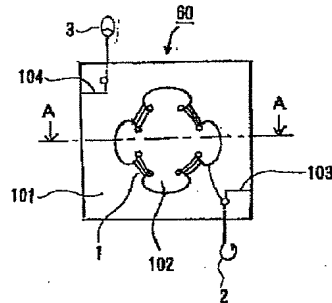
400、421、448、490、507…釣具収納袋

*

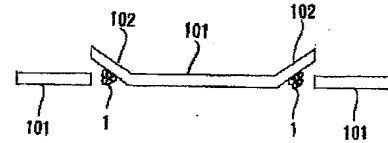
【図1】



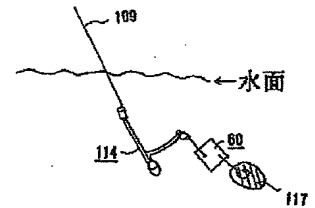
【図2】



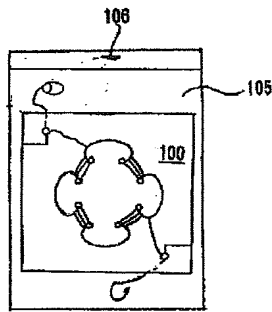
【図3】



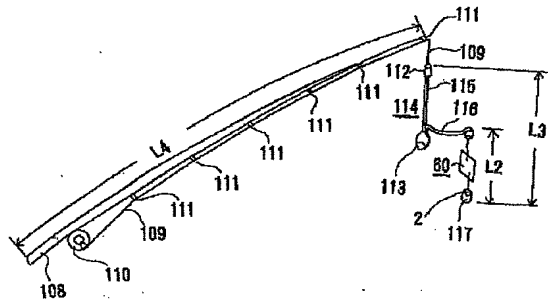
【図7】



【図4】



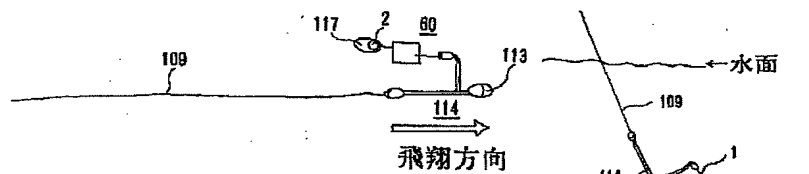
【図5】



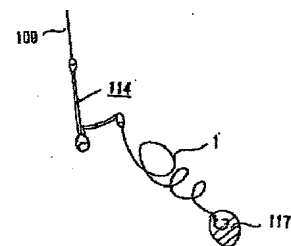
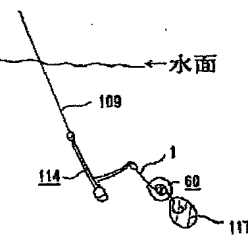
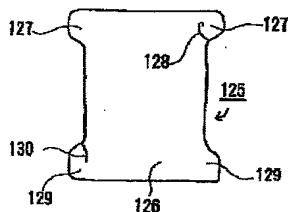
【図6】

【図8】

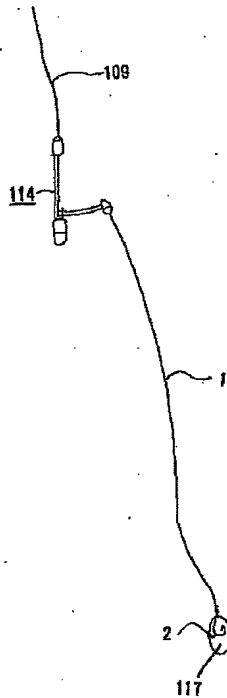
【図9】



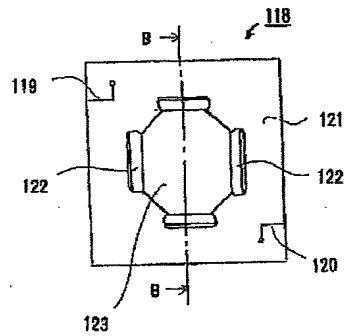
【図15】



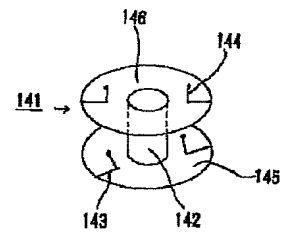
【図 10】



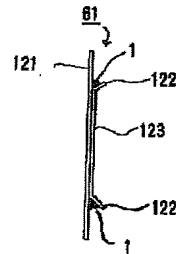
【図 1 1】



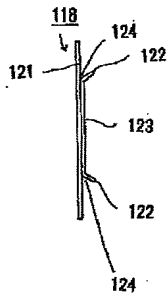
【図19】



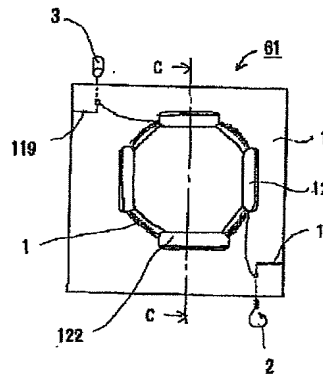
【図 14】



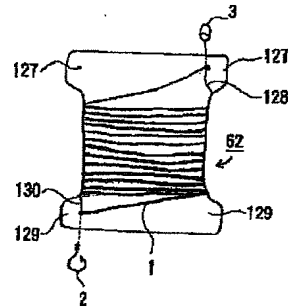
【圖 12】



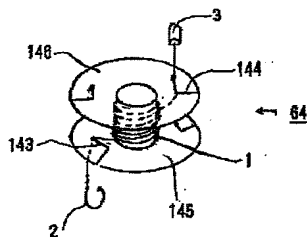
【図 13】



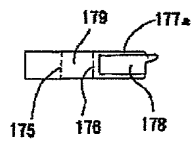
【図 16】



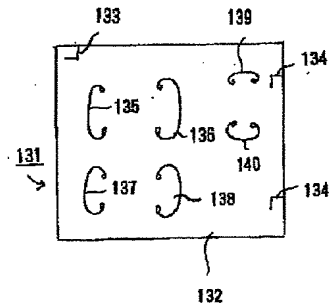
【圖20】



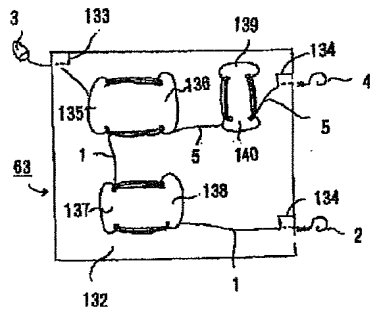
【图 24】



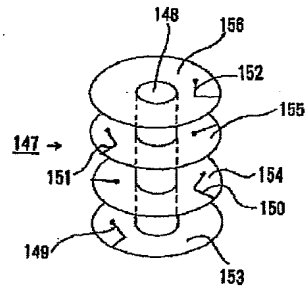
【圖 17】



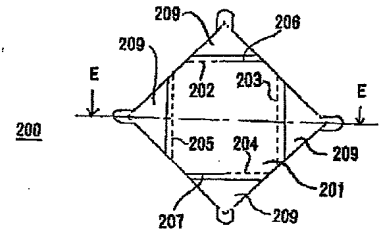
【図18】



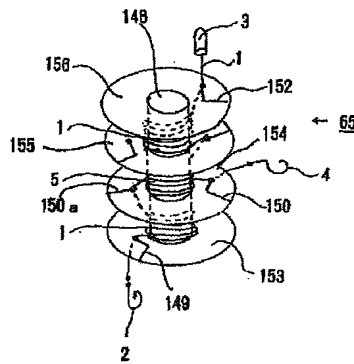
【図21】



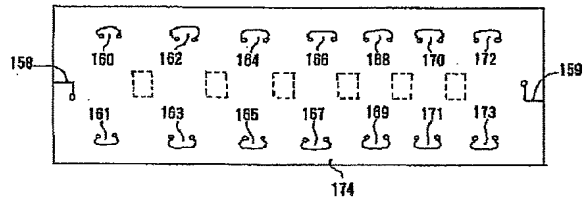
【図28】



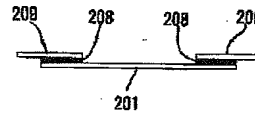
【図22】



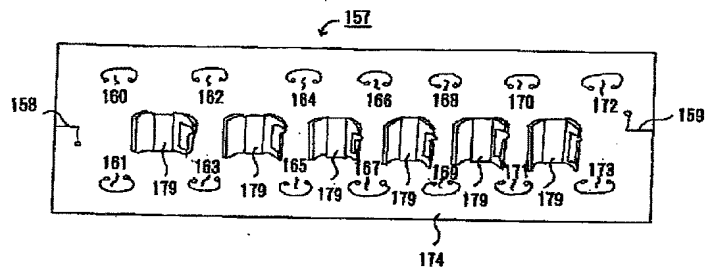
【図23】



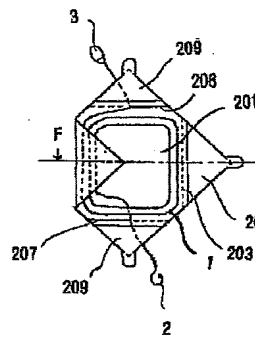
【図29】



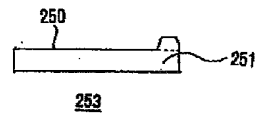
【図25】



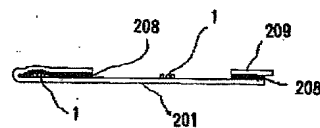
【図30】



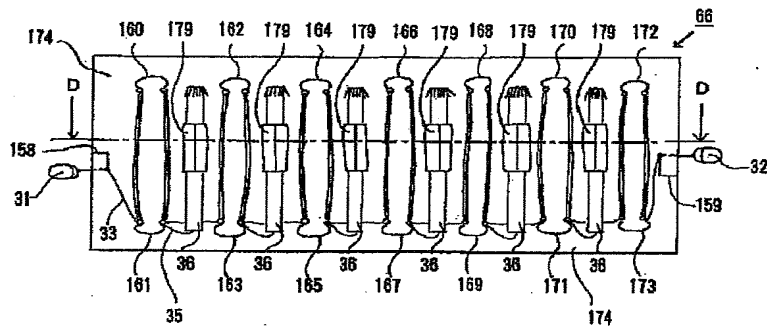
【図40】



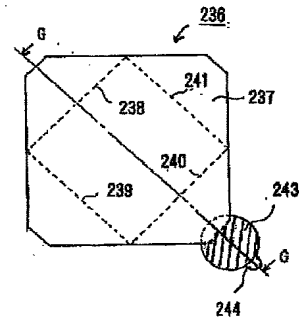
【図31】



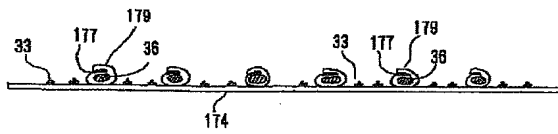
【図26】



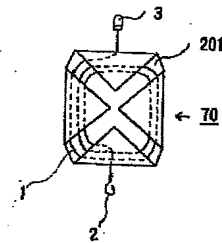
【図35】



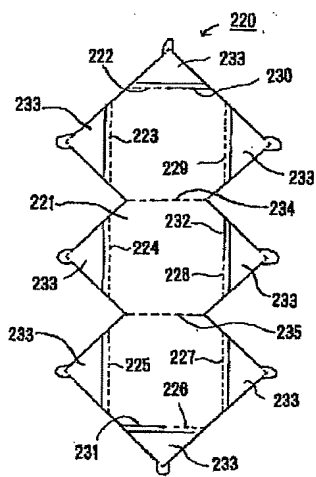
【図27】



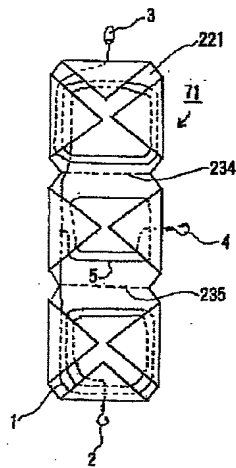
【図32】



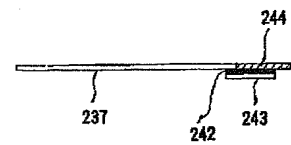
【図33】



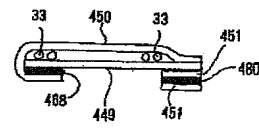
【図34】



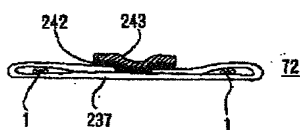
【図36】



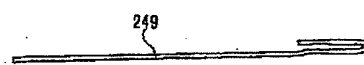
【図64】



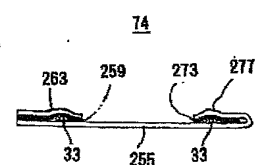
【図38】



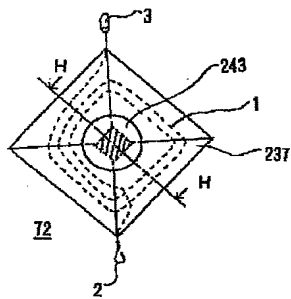
【図41】



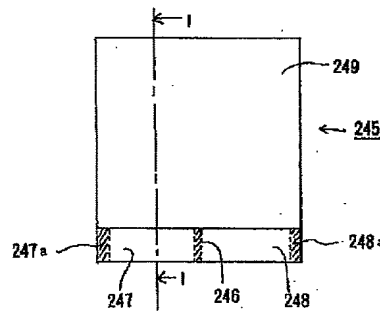
【図48】



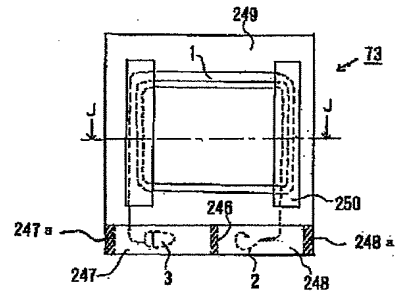
【図37】



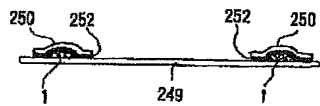
【図39】



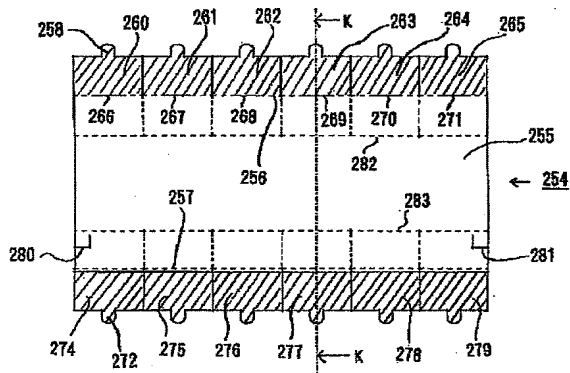
【図42】



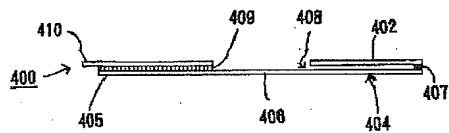
【図43】



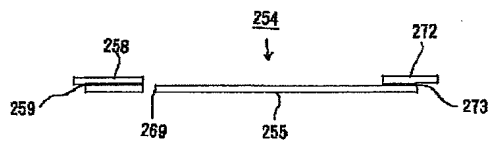
【図44】



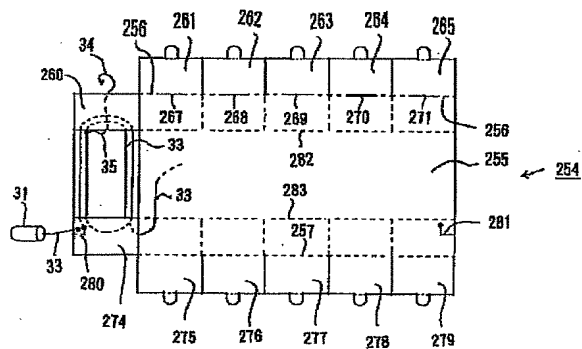
【図55】



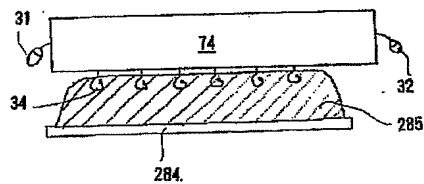
【図45】



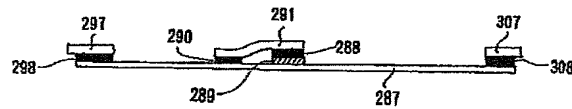
【図46】



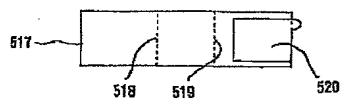
【図49】



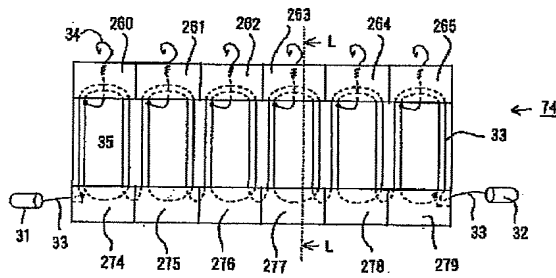
【図51】



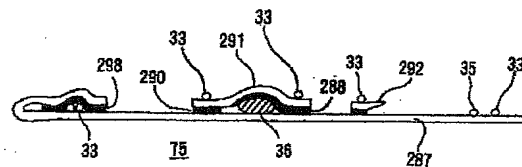
【図74】



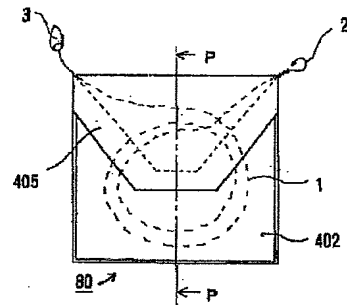
【図47】



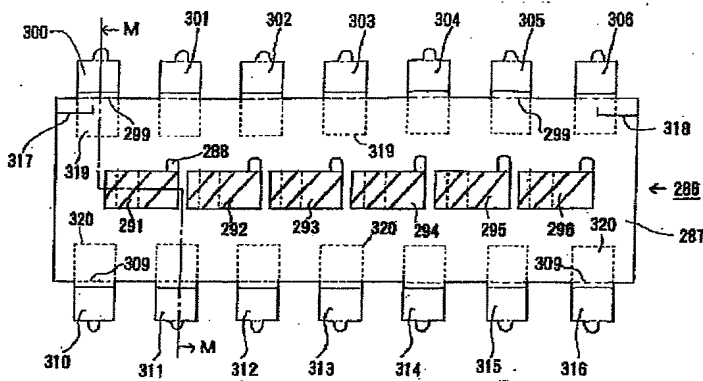
【図53】



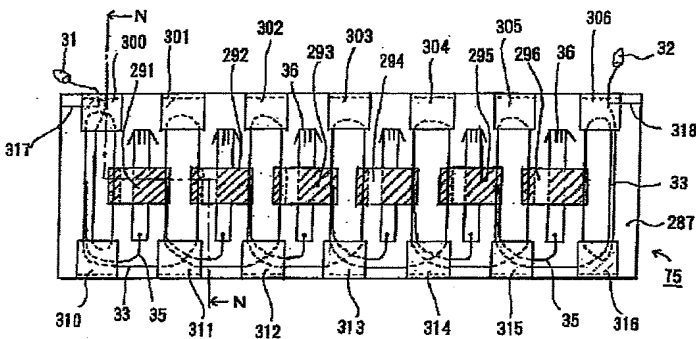
【図56】



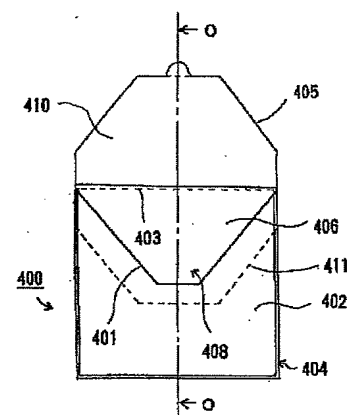
【図50】



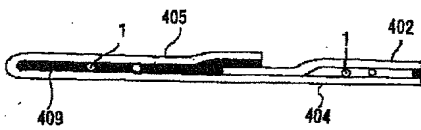
【図52】



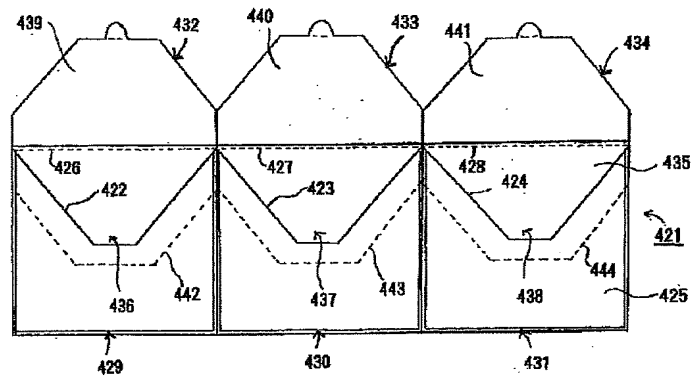
【図54】



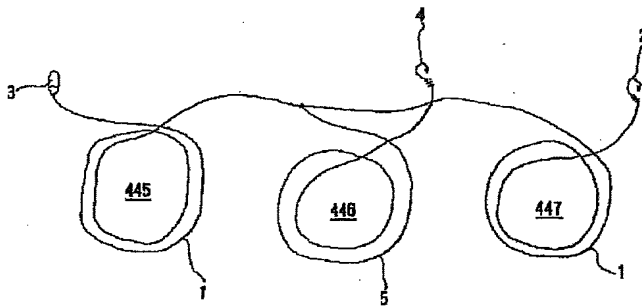
【図57】



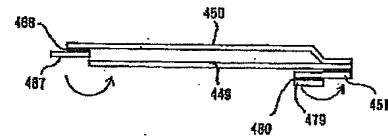
【図58】



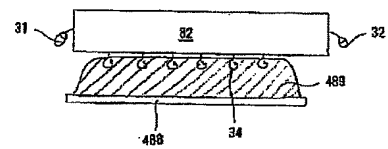
【図59】



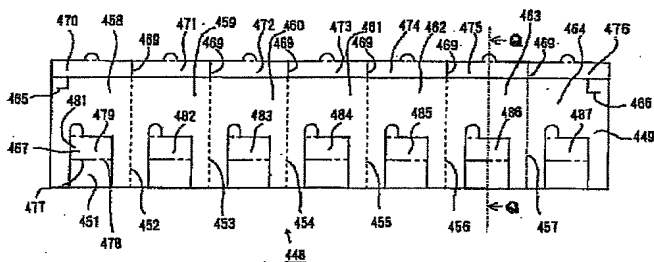
【図62】



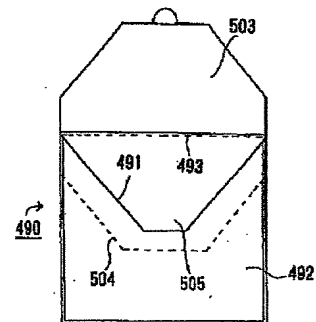
【図66】



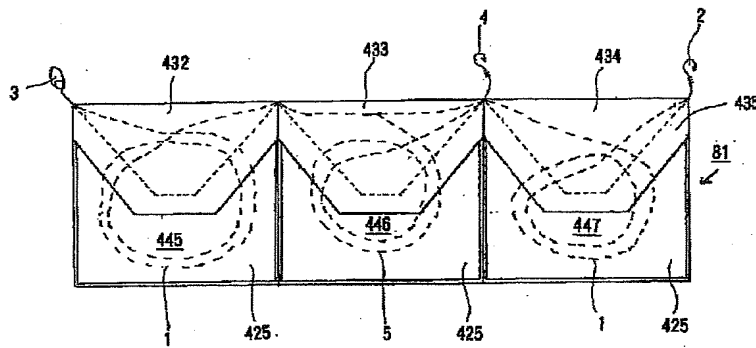
【図61】



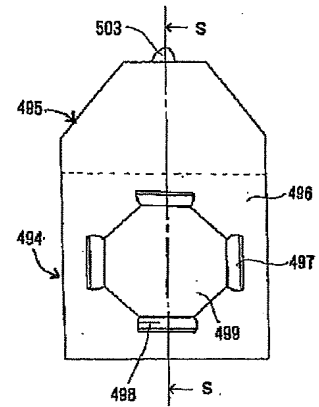
【図67】



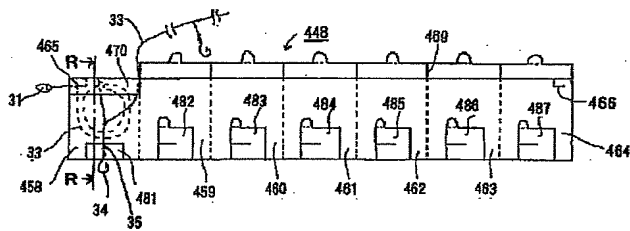
【図60】



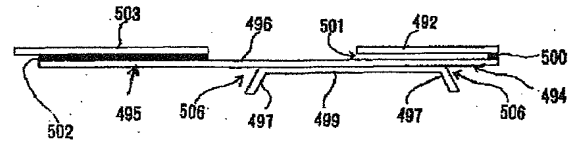
【図68】



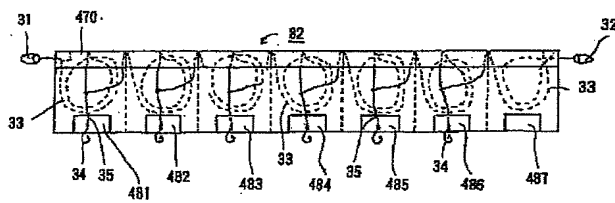
【図63】



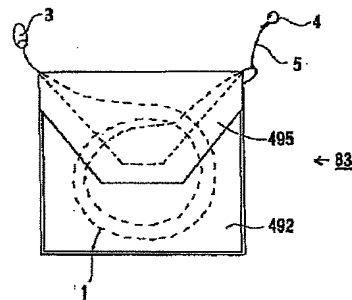
【図69】



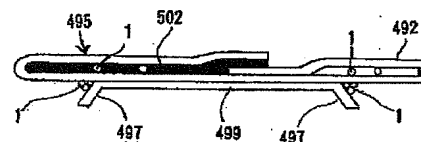
【図65】



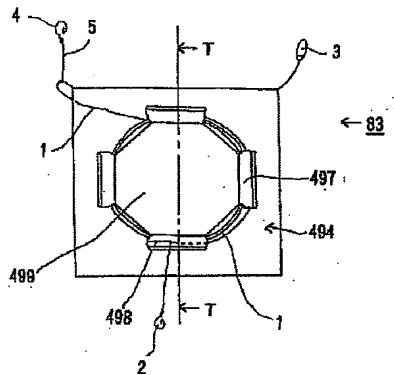
【図70】



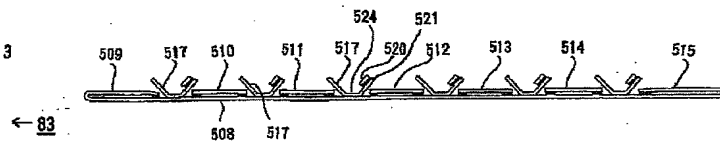
【図72】



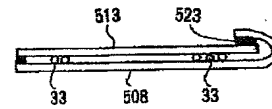
【图 7 1】



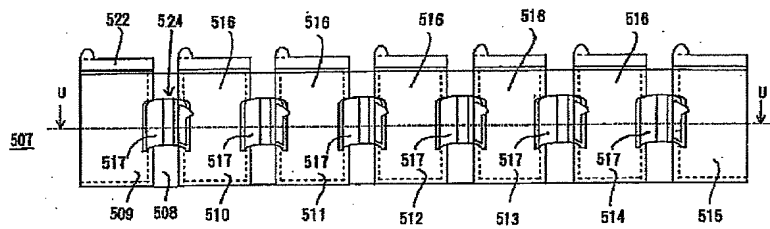
【図75】



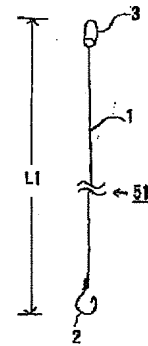
【图78】



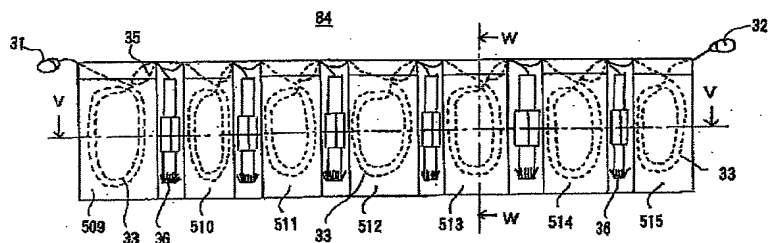
【圖 7 3】



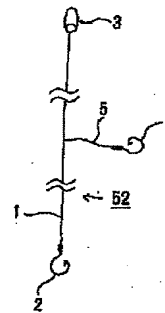
【图 7 9】



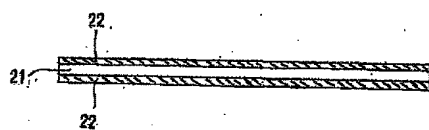
【図 76】



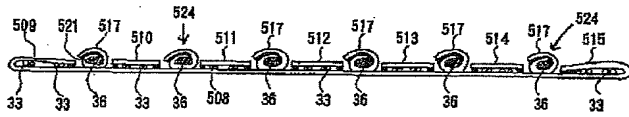
【図80】



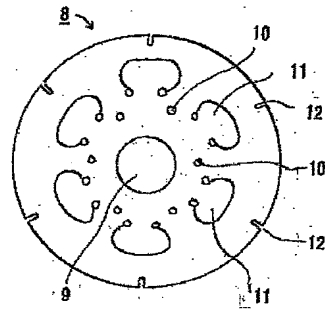
【图 85】



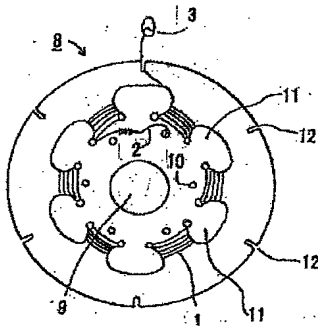
【図77】



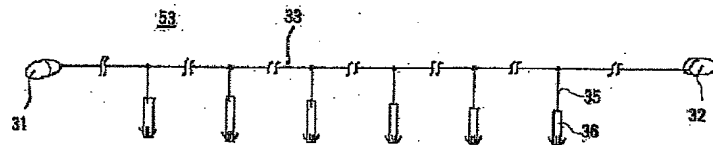
【図81】



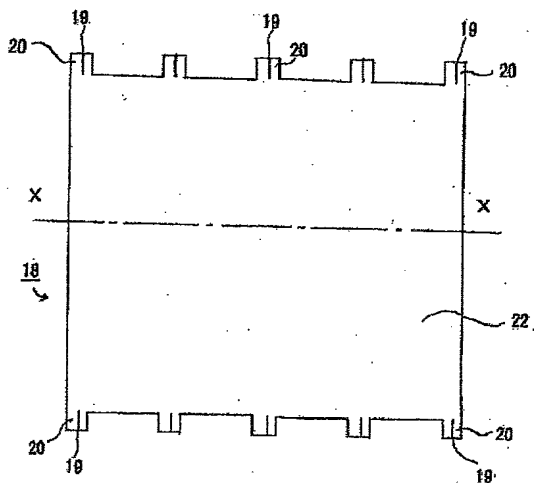
【図82】



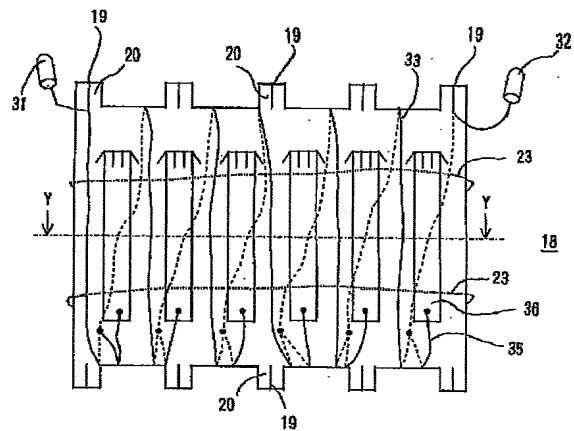
【図83】



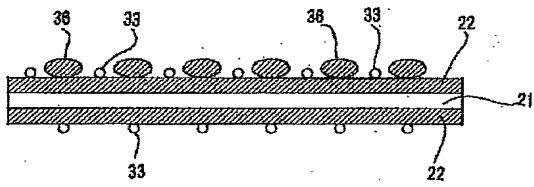
【図84】



【図86】



【図87】



【図88】

